株式会社ケーピーエス
Interesting & Amusing

セールスフォース環境で帳票開発をするなら

Reports Connect for Salesforce

～ 操作マニュアル ～

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

ReportsConnect for Salesforce

Force.com標準機能では帳票を自由にデザインすることが困難です。
KPSの「ReportsConnect for Salesforce」は自由で快適な帳票開発を約束いたします。

主な特徴

・セールスフォース環境に柔軟な帳票開発環境を提供します。

・セールスフォース標準のレポート機能では困難だった
さまざまな用途の帳票、伝票印刷が可能になります。

・１回の印刷要求あたり３ページまで、無料で印刷サービスが使用できます。

・ユーザ外字の使用が可能です。

・IPAmj明朝フォント約51,000文字分に対応しています。

・セールフォースCRMやForce.comアプリケーションから自由に帳票出力

・Salesforce1アプリからモバイル環境で帳票作成ができます

・帳票デザインツール jaspersoft Studioを使用してGUIで帳票デザイン

・oAuth2.0認証でセキュリティ対策も万全です。

公式サイト

http://www.reportsconnect.com/reportsconnect.html

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

INDEX

1．はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・04

1－1　帳票作成6ステップ (1～3) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・04

1－2　ご利用前にご確認ください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・06

1－3　インストール方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・07

2．操作説明　～帳票作成～ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・09

2－1　帳票の新規作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・09

2－2　データソースの作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

2－3　CSVデータソースの読込み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

2－4　帳票レイアウトの作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

2－5　jrxmlファイルの登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

2－6　印刷テスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

2－7　補足 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

3．操作説明　～アプリケーションへの実装～ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

3－1　RPConnectコンポーネントを使った簡易実装 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

3－2　SOQLを動的に変更する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

3－3　パラメータを帳票に出力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

3－4　Apexから印刷要求を行う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

3－5　帳票PDFを任意のオブジェクトに添付する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

3－6　複数の帳票をひとつのPDFにまとめて出力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

3－7　ログインユーザー固定化オプションの使用法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

4．操作説明　～ライセンス管理～ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

4－1　ライセンス管理画面を表示する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

4－2　ユーザーにライセンスを割り当てる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

4－3　ユーザーにライセンスを割り当てる（OEM向け） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・46

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

5．こんなときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

5－1　帳票保存時に「エラー：設定が必要です！ ～」と表示されたら ・・・・・・・・・・・・・・・・・47

5－2　ReportsConnect実行時、データへのアクセス権限を要求されたら ・・・・・・・・・・・・・・・・・48

5－3　帳票テスト時にエラーが発生したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・49

6．お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－1　帳票作成6ステップ (1~3)

Step1
ReportsConnect開発画面で新規帳票ボタンを押す

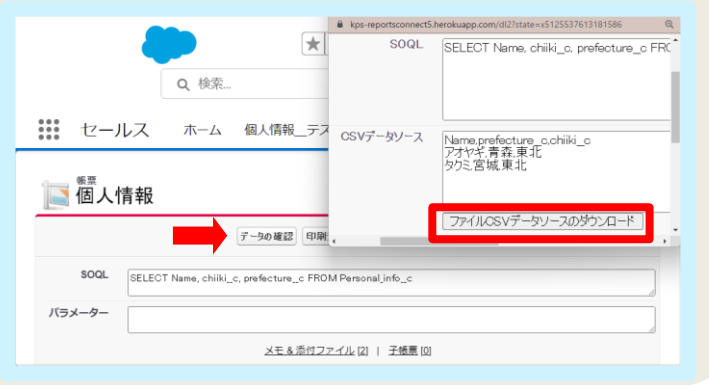
➡ P.09 [帳票の新規作成]

Step2
帳票にデータ読み出しのSOQLを設定

➡ P.11 [帳票の新規作成(続き)]

Step3
データの確認ボタンを押してCSV Datasourceをダウンロード

➡ P.12 [データソースの生成]

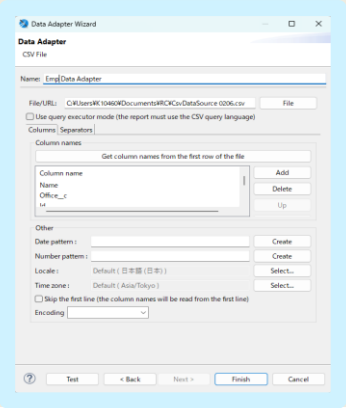


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－1　帳票作成6ステップ（4～6）

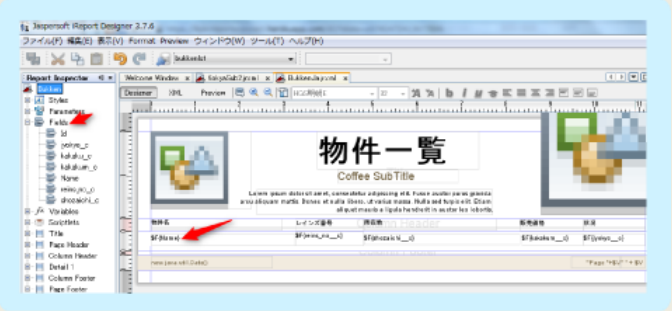
Step4
帳票デザインツールJasperSoftStudioで、File CSV Datasourceを読み込みfieldを自動生成

➥ P.15 [CSVデータソースの読み込み]



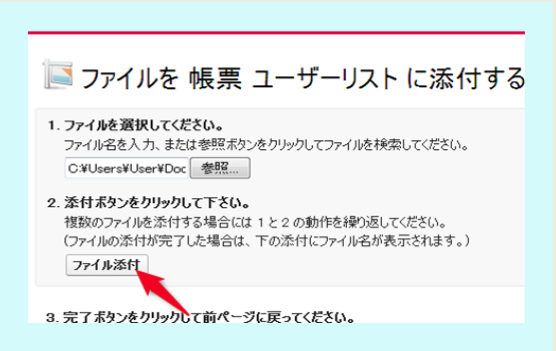
Step5
JasperSoftStudioでfieldを配置して帳票デザイン

➥ P.20 [帳票レイアウトの作成]



Step6
JasperSoftStudioで作成した帳票ファイル（.jrxml）をReportsConnect開発画面で帳票に登録

➥ P.25 [jrxmlファイルの登録]



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－2　ご利用前にご確認ください

Ⅰ. ReportsConnect for Salesforceライセンスについて

ReportsConnectのライセンスと料金は下記の通りです。

ライセンス	1印刷要求あたりの ページ数制限　読込データ量制限	月額使用料
free	3ページ（注1）　200kb	無料
basic	200ページ　1,000kb	¥5,000/1ユーザー

※以下追加ユーザーライセンス（使用には1組織にbasic1ユーザのみ別途必要です）

ライセンス	1印刷要求あたりの ページ数制限　読込データ量制限	月額使用料
lite	30ページ　500kb	¥1,500/5ユーザー
pro	200ページ　1,000kb	¥1,000/1ユーザー

※注1　：Developer Editionの管理ユーザーの場合は20ページ 300kb
　　OEMアプリへの組み込み、サーバーの個別構築等のご要望は、別途ご相談ください。

※注2　：ご契約は年単位となります

Ⅱ. Jaspersoft Studioについて

Jaspersoft Studioは画面からの操作でレポートを作成するためのツールです。

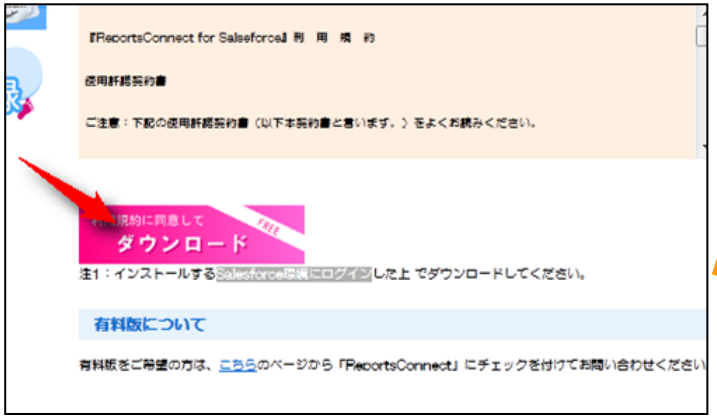
↓iこちらからダウンロードすることが出来ます。↓
https://community.jaspersoft.com

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－3　インストール方法

① ReportsConnect公式サイト内のダウンロードページの「利用規約に同意してダウンロード」を押します。
② Salesforceのログイン画面が開くので、ダウンロードする組織にログインします。
③ インストールするプロファイルを選択し、「インストール」を押します。

①



②

③

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－3　インストール方法

④　サードパーティアクセスの承認画面が表示された場合、「はい、これらのサードパーティWebサイトにアクセスを許可します」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを押します。

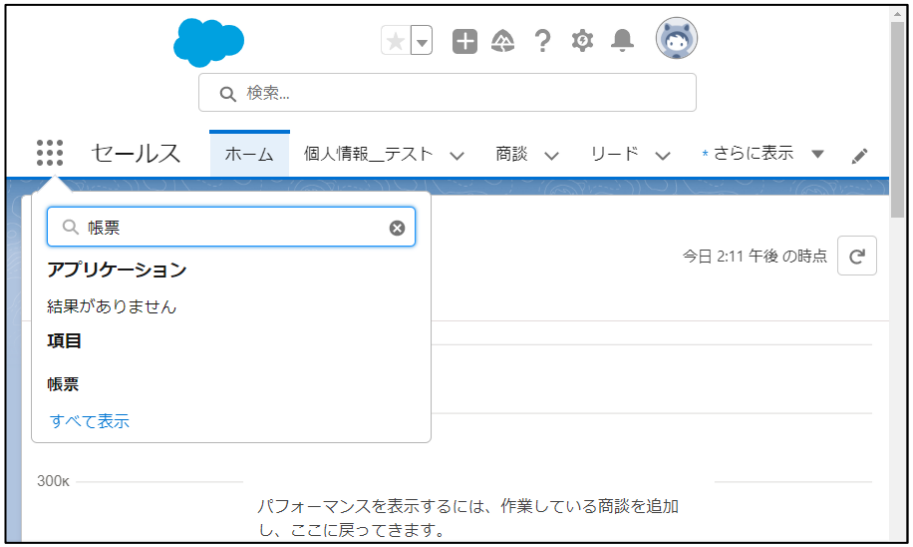
④

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

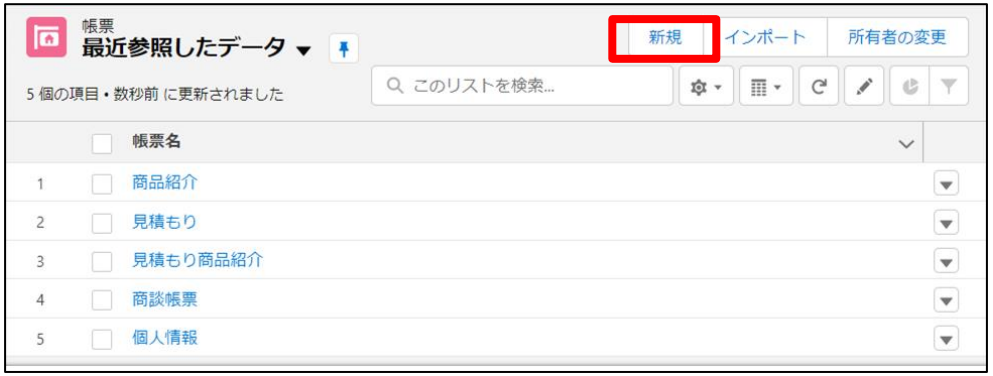
2－1　帳票の新規作成

帳票印刷機能を新規に作成する手順です。
①　「帳票」タブを開きます。
②　「新規」ボタンを押して、帳票レコードを1件作成します。

①



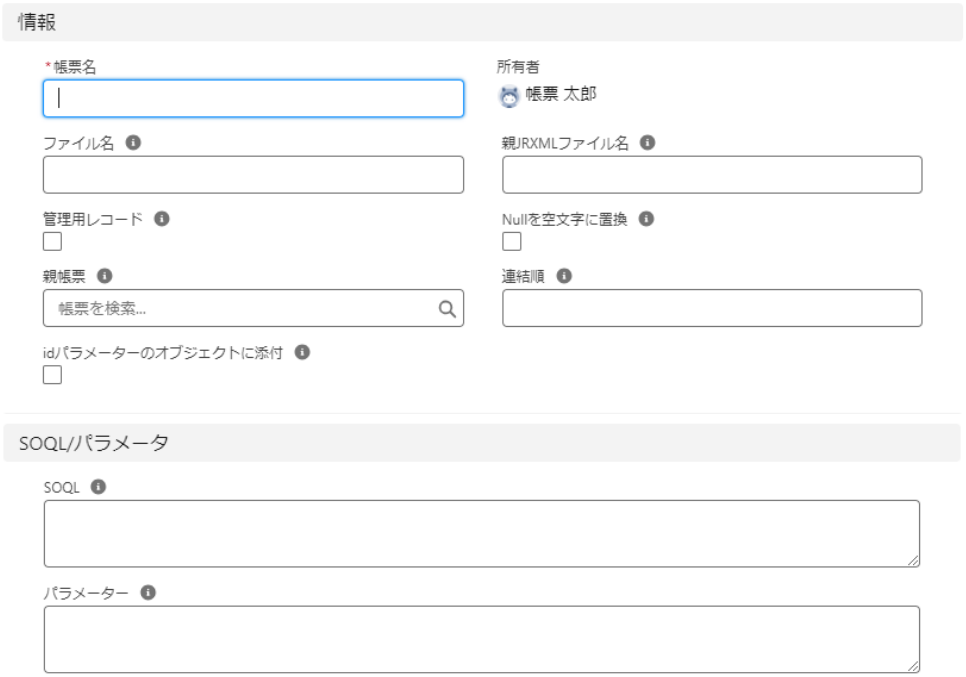
②



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－1　帳票の新規作成 (続き)

～「新規帳票」画面説明～



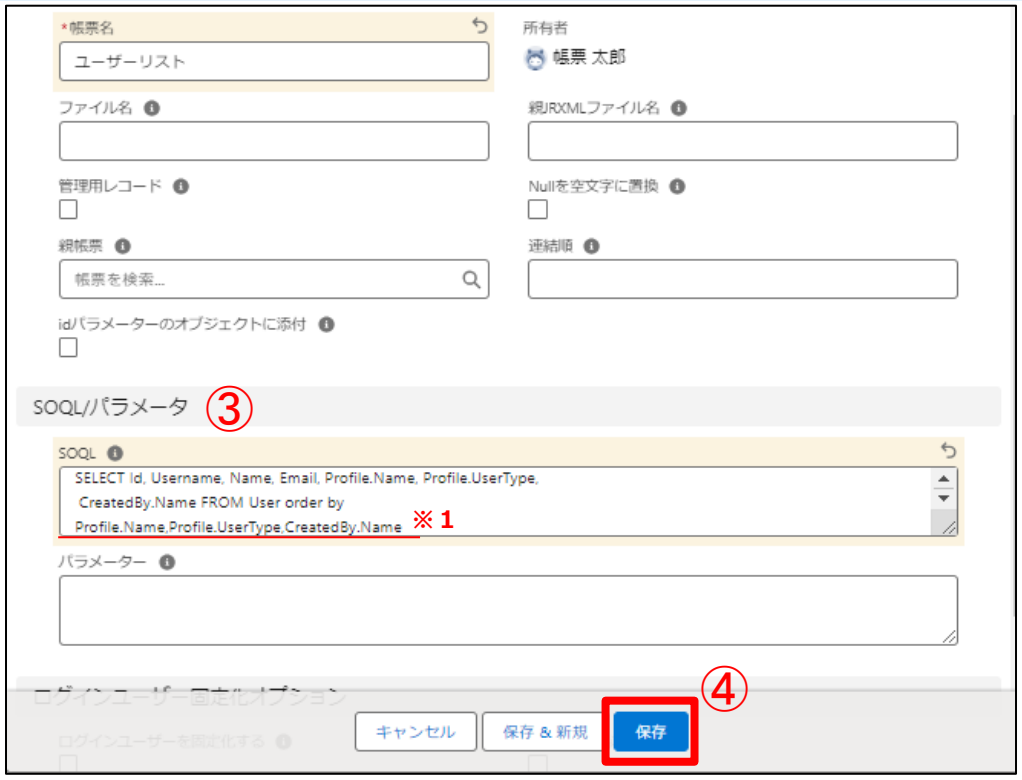
- **帳票名**　：帳票の名前です。※必須項目
- **ファイル名**　：ダウンロードされるPDFファイルの名称を事前に設定出来ます。
- **親JRXMファイル名**　：SubReportを使用する場合、親となるJRXMLファイル名を指定します。
- **管理用レコード**　：チェックをONにすると、この帳票に添付されたリソースが全ての帳票にも適用されます。
- **Nullを空文字に置換**　：データがNullの場合、空文字として返します。
- **親帳票**　：他の帳票と連結してPDFに出力する場合、親となる帳票オブジェクト名を指定します。
- **連結順**　：他の帳票と連結してPDFに出力する場合、結合する順番を指定します。
- **idパラメータのオブジェクトに添付**　：チェックをONにすると、PDFファイルを直接ダウンロードせず、”id”パラメータで指定されたオブジェクトにファイルが添付されます。

- **SOQL**　：データを読み込むためのSOQLです。
- **パラメーター**　：開発時に、リクエストパラメータを設定した状態で動作確認が出来ます。key=valueの形式で複数行設定出来ます。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－1　帳票の新規作成 (続き)

③　SOQL欄にデータを読み込むためのSOQLを入力します。
④　「保存」ボタンを押して帳票を保存します。



注 意

※1　帳票上でグルーピングする場合は、グルーピングするカラムでデータがソートされている必要があります。

※2　初回保存時、エラーメッセージが表示されることがあります。メッセージに従って設定を行ってください。
→参照:P47(帳票保存時に「エラー：設定が必要です！ ～」と表示されたら)

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－2　データソースの作成

帳票レイアウト作成に必要な、CSVデータソースを生成する手順です。
①　作成した帳票レコードを開き、「データの確認」ボタンを押します。

①

注 意

※　お使いのブラウザのポップアップブロック設定が有効になっている場合、正しく画面が表示されない場合があります。ポップアップブロック機能の解除を行ってください。

※　初回実行時、oAuth2.0の認証機能により、データへのアクセス権限を要求してきます。
内容をご確認の上、「許可」ボタンを押してください。
→参照：P48（ReportsConnect実行時、データへのアクセス権限を要求されたら）

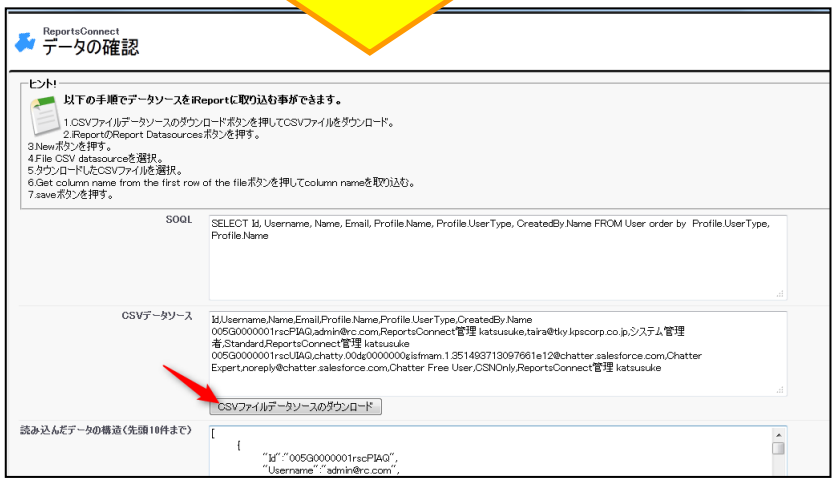
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－2　データソースの作成 (続き)

② 印刷処理中の画面が一定時間表示されます。
③ データの確認画面が表示されます。
「CSVファイルデータソースのダウンロード」CSVファイルをダウンロードします。

②

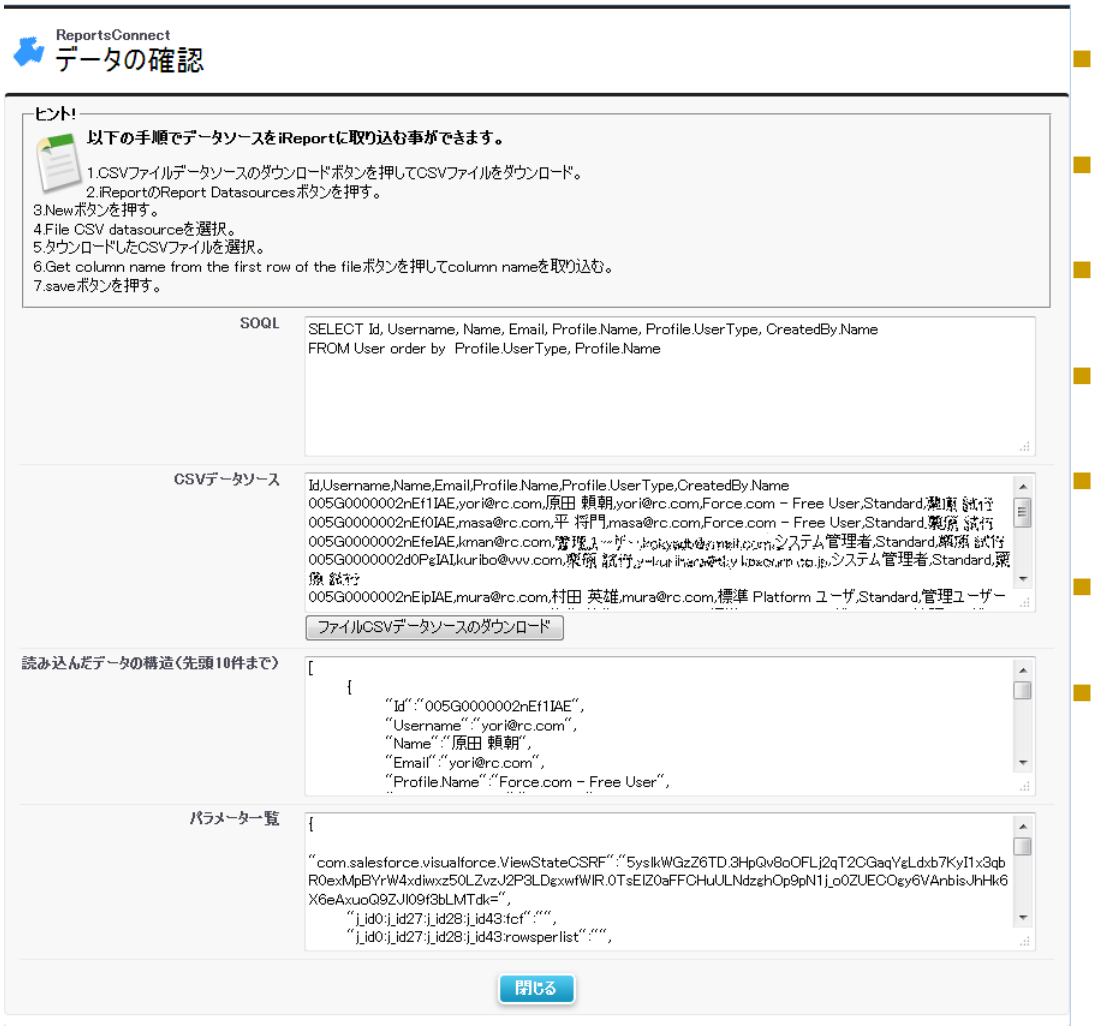
③



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－2　データソースの作成

～「データの確認」画面説明～



- **ヒント：**
  帳票作成を円滑に進めるためのヒントが表示されます。
- **SOQL：**
  データを取得するためのSOQLが表示されます。
- **CSVデータソース：**
  CSVデータソースの内容が表示されます。
- **ファイルCSVデータソースのダウンロード：**
  CSV形式のデータソースをダウンロードできます
- **読み込んだデータの構造：**
  データ構造を１０件まで表示されます。
- **パラメーター一覧：**
  送られたリクエストパラメーターが表示されます。
- **「閉じる」ボタン：**
  データの確認画面を閉じます。

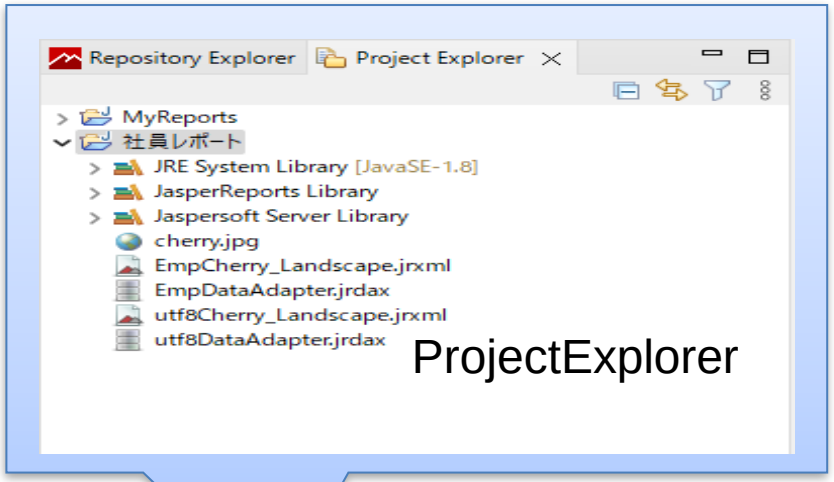
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－3　CSVデータソースの読込み

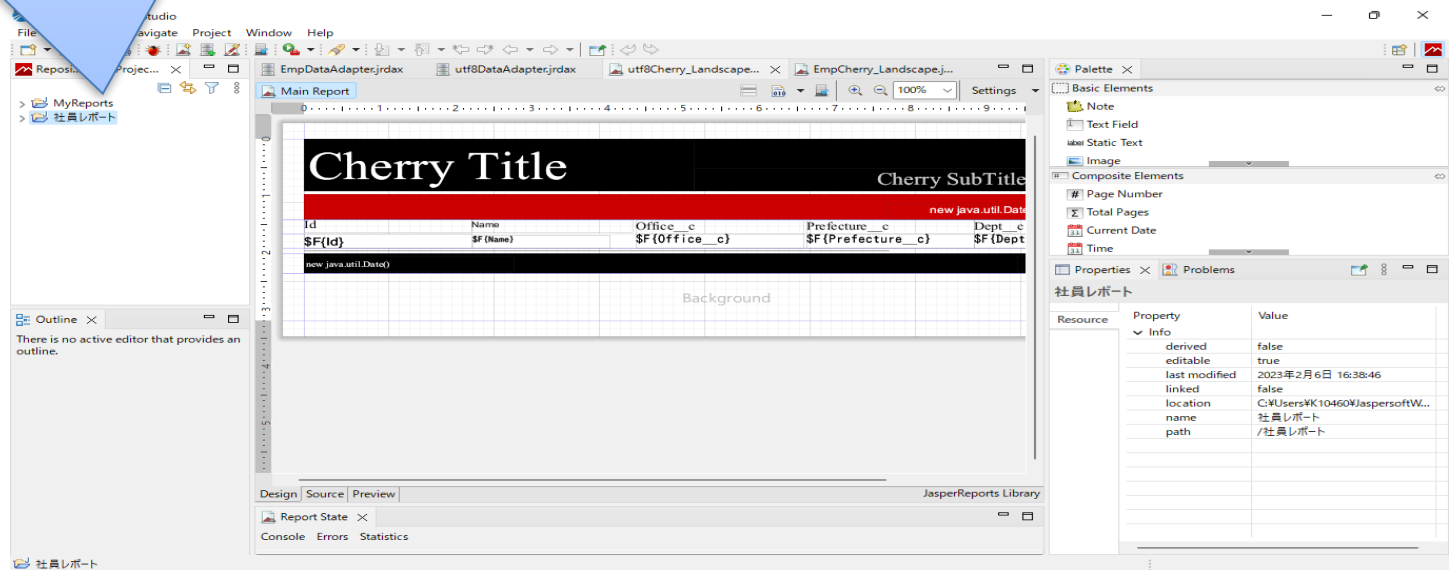
操作説明２－２で生成したCSVファイルをJasperSoftStudioに読み込ませる手順です。

① JasperSoftStudioを起動します。

①



メイン画面

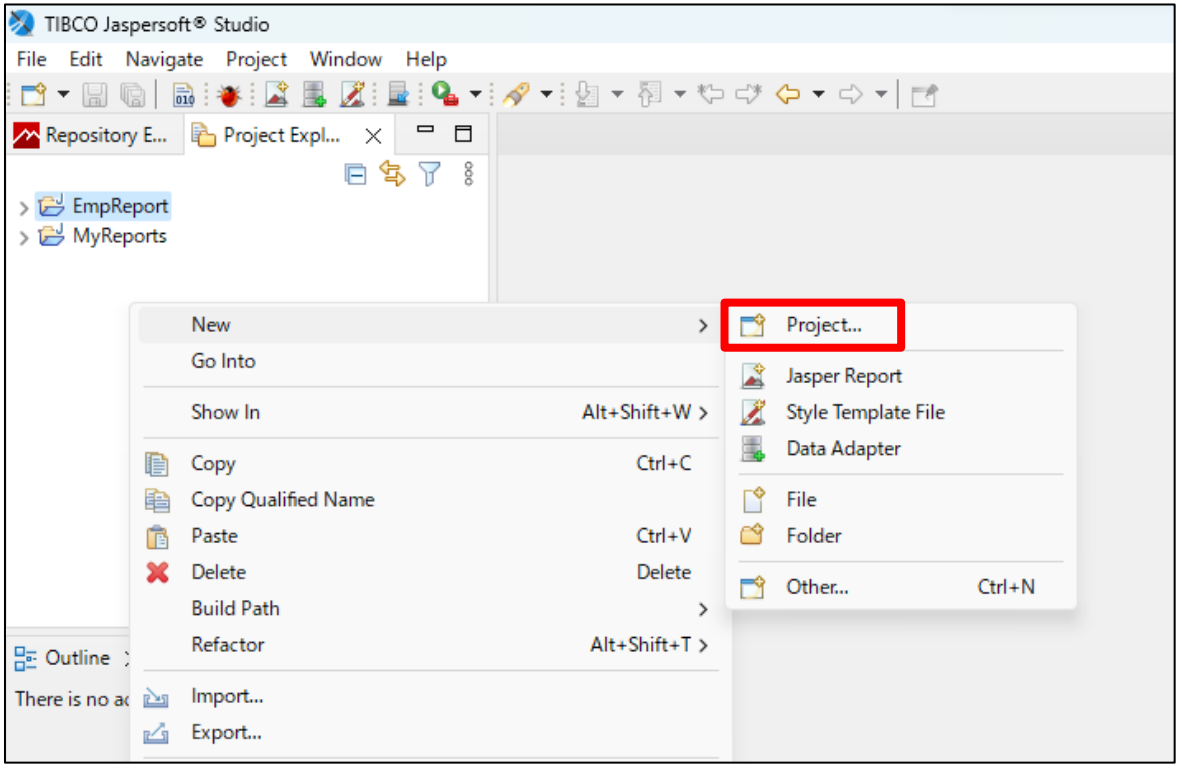


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－3　CSVデータソースの読込み (続き)

② ProjectExplorerの余白部分を右クリックし、「New」→「Project」を選択します。

②

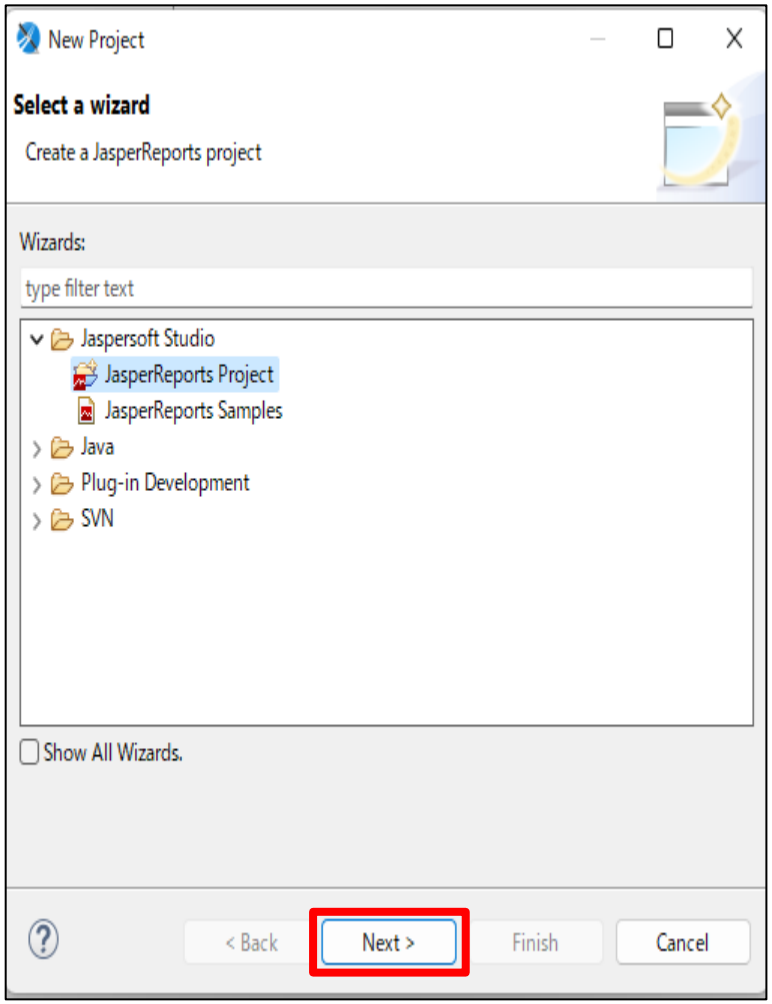


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

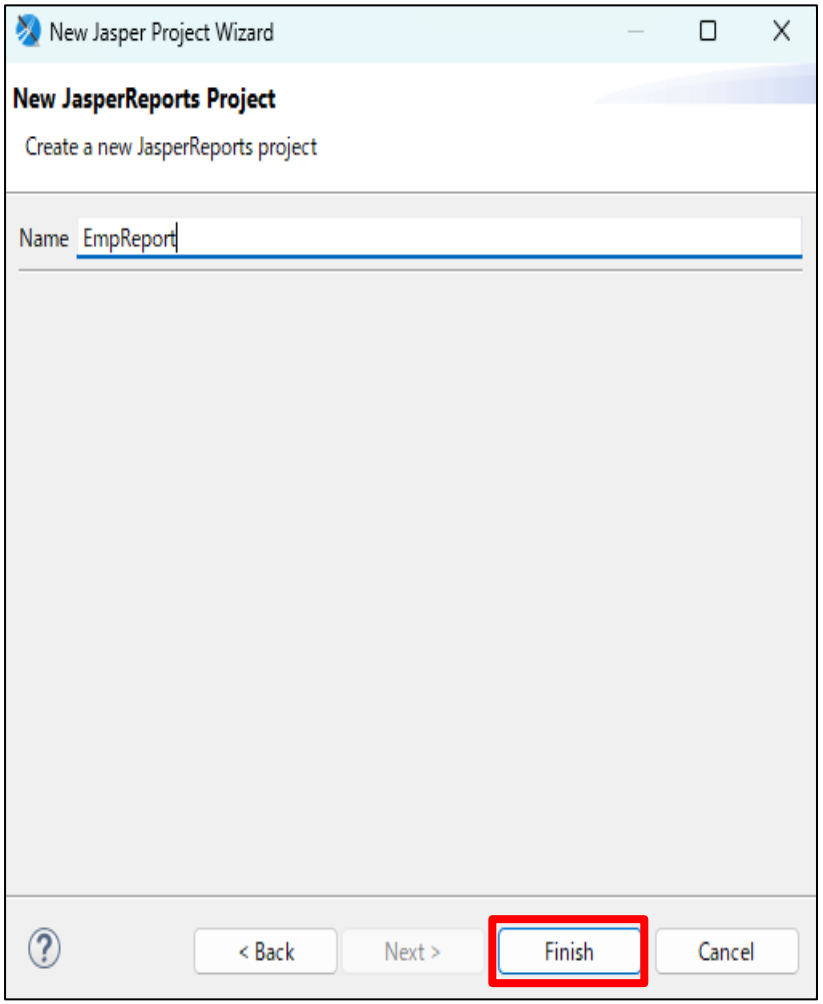
2－3　CSVデータソースの読込み (続き)

③　「JasperReports Project」を選択し、「Next」ボタンをクリックします。
④　Nameに任意の名前を付けて、「Finish」ボタンをクリックします。

③



④

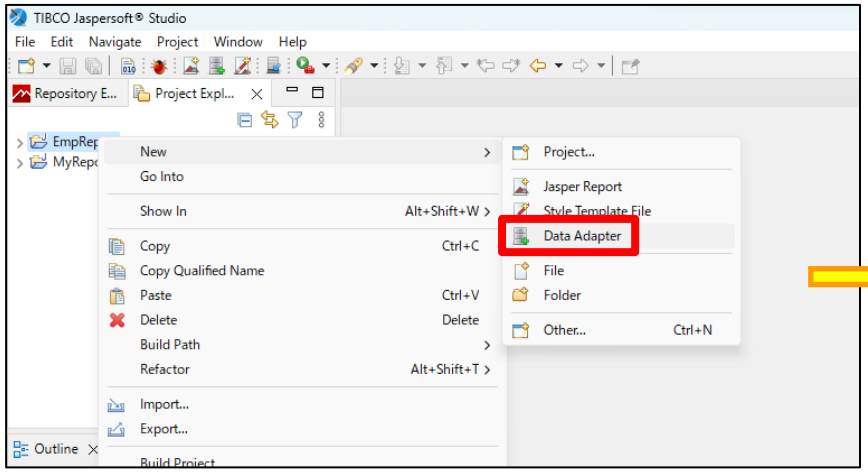


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

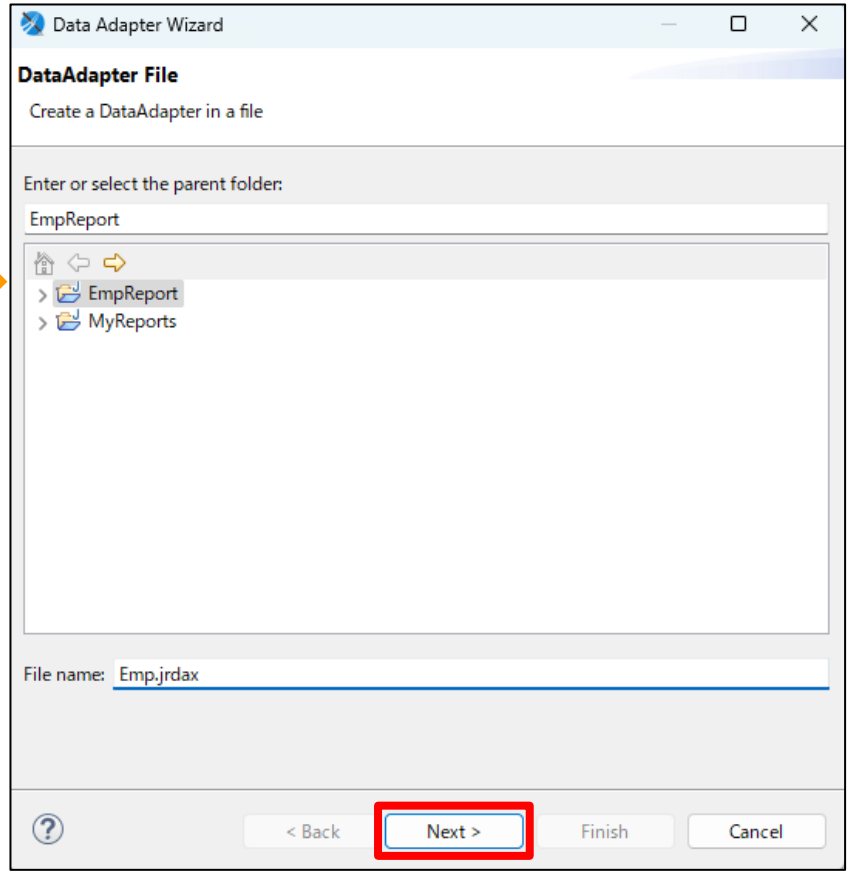
2－3　CSVデータソースの読込み (続き)

⑤　Project名を右クリックし、「New」→「 Data Adopter」を選択します。
⑥　任意の名前を付けて、「Next」ボタンを押します。

⑤



⑥

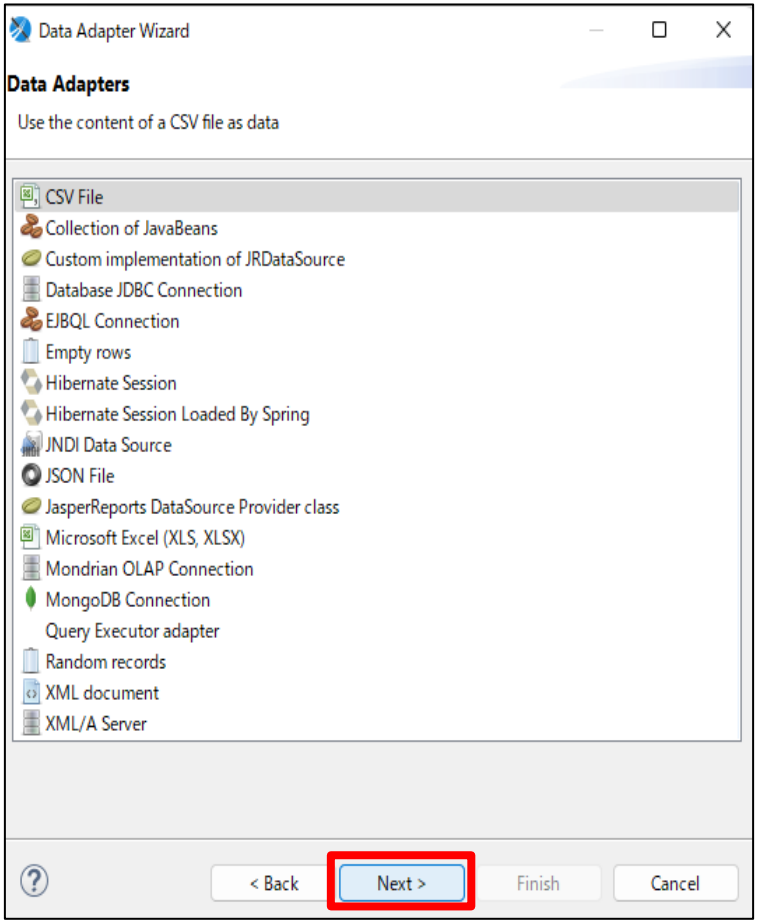


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

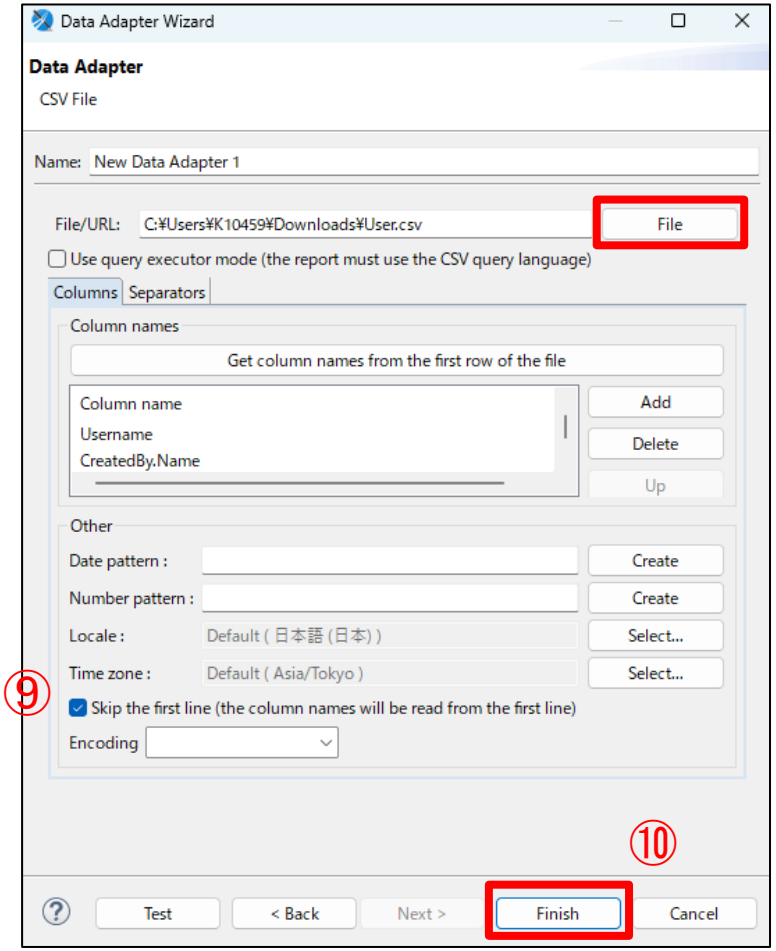
2－3　CSVデータソースの読込み (続き)

⑦　1番上の「CSV File」を選択し、「Next」ボタンをクリックします。
⑧　File/URLの部分で右の「File」ボタンをクリックし、用意したCSVファイルを選択します。
⑨　「Skip the First line」 にチェックを付けます。
⑩　「Finish」ボタンを押します。

⑦



⑧

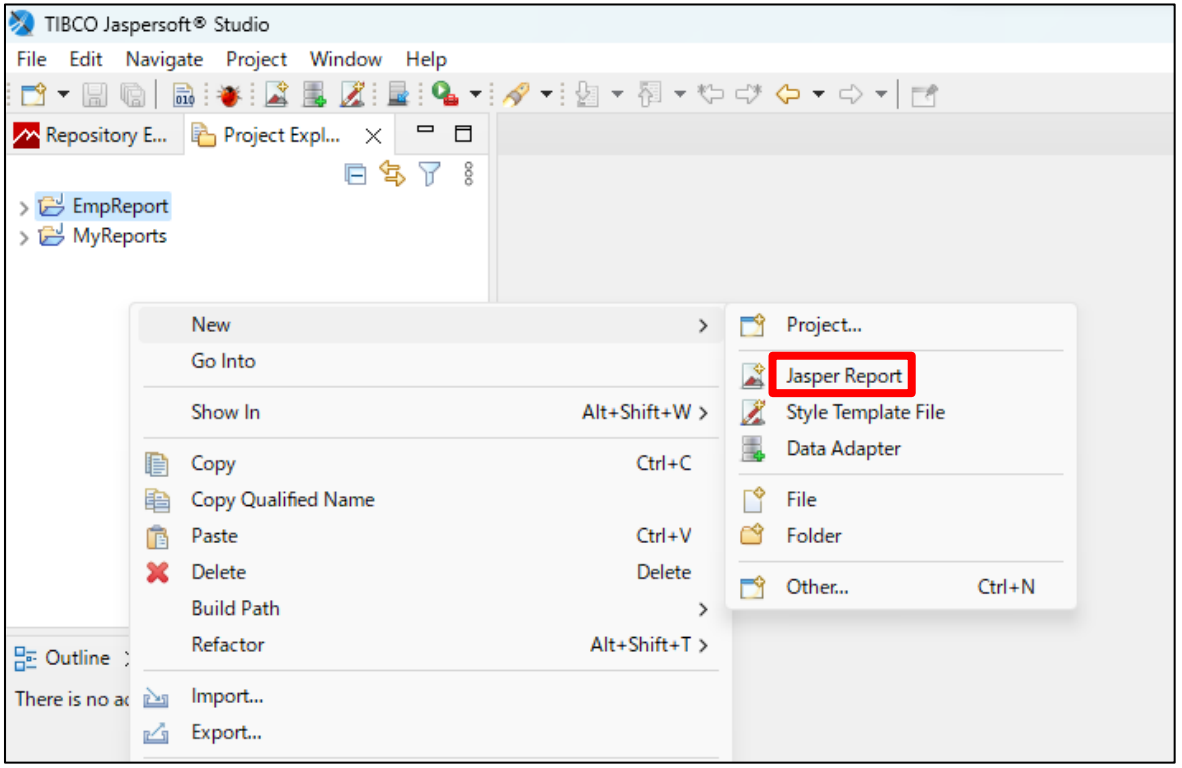


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－4　帳票レイアウトの作成

Jaspersoft Studioを用いて帳票レイアウトを新規に作成する手順です。
① Project名を右クリックし、「New」→「JasperReport」を選択します。

①

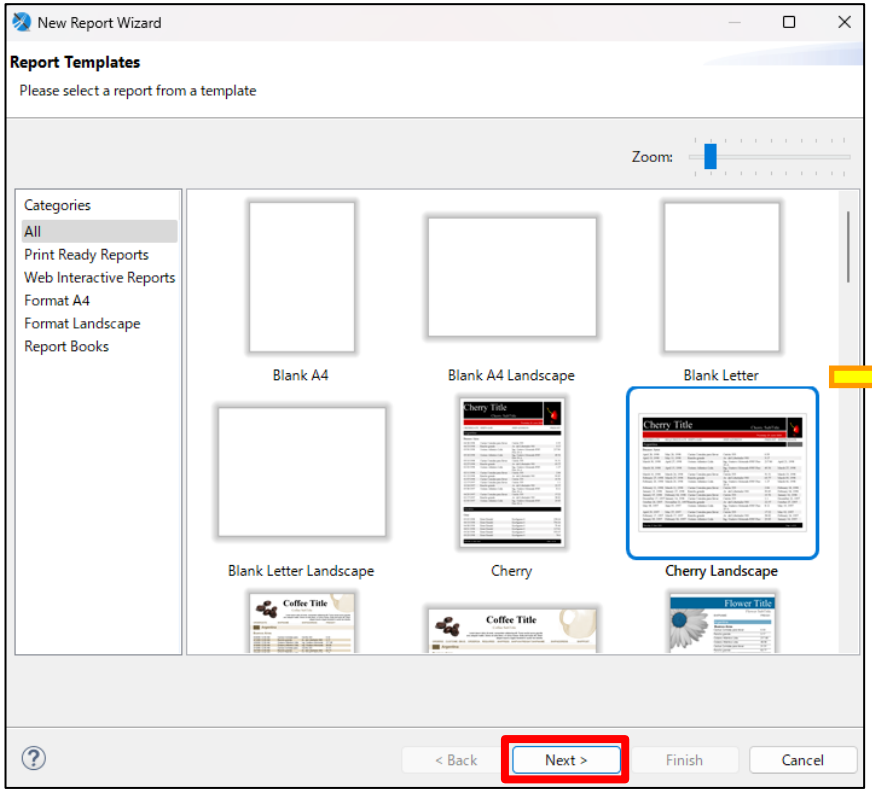


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

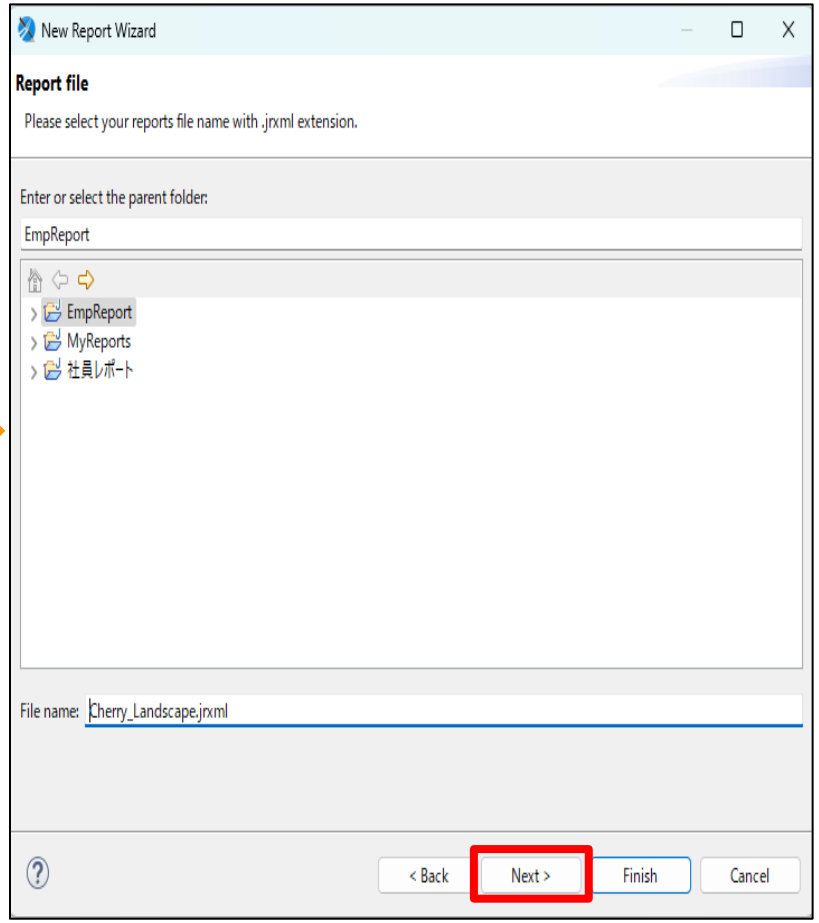
2－4　帳票レイアウトの作成

②任意のテンプレートを選択して「Next」ボタンを押します。
③任意の名前を付けて「Next」ボタンを押します。

②



③

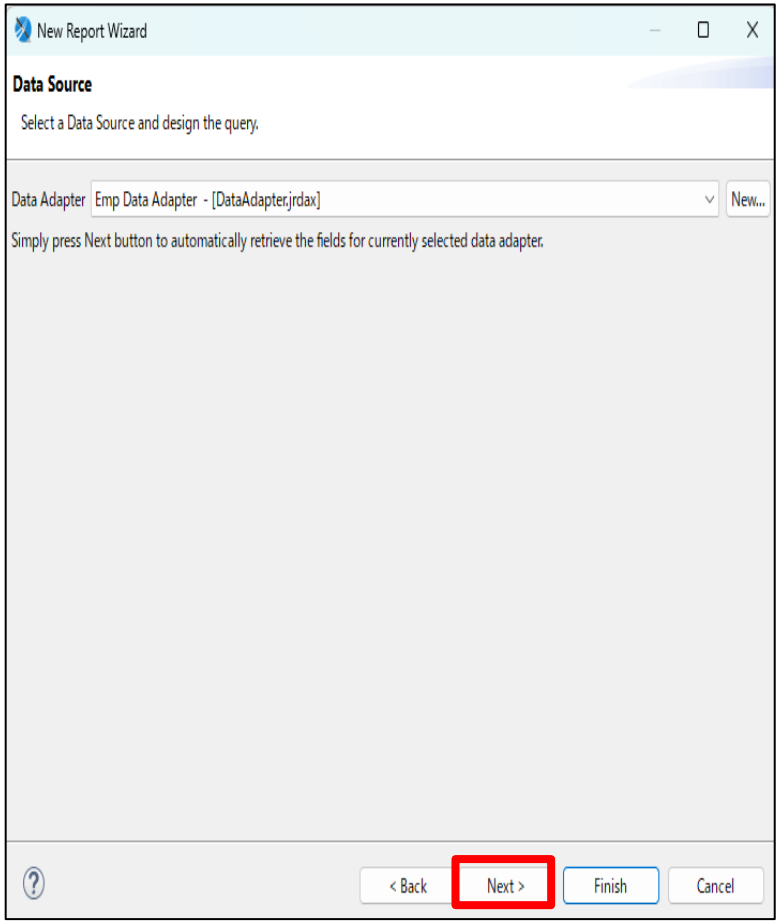


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

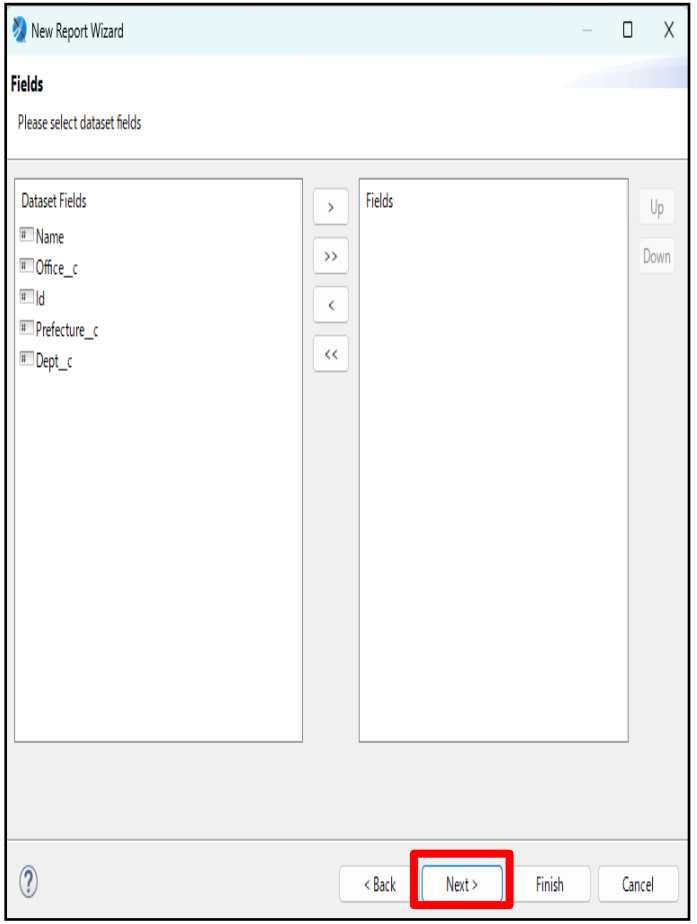
2－4　帳票レイアウトの作成 (続き)

④　帳票に使用するDatasouceのDataAdapterを選択し、「Next」ボタンを押します。
⑤　帳票に使用するカラムをFieldsリストの右側に移動し、「Next」ボタンを押します。

④



⑤

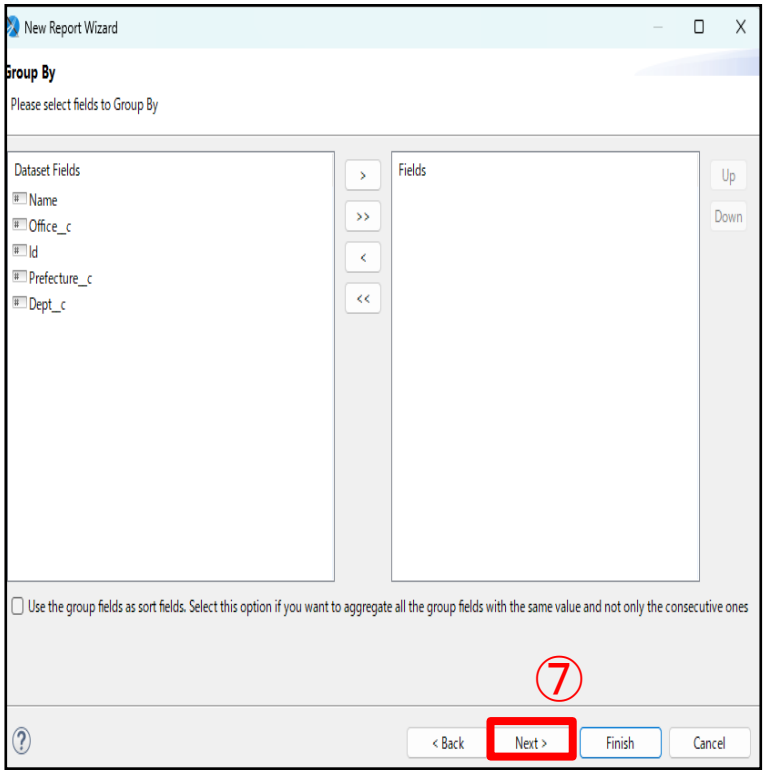


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

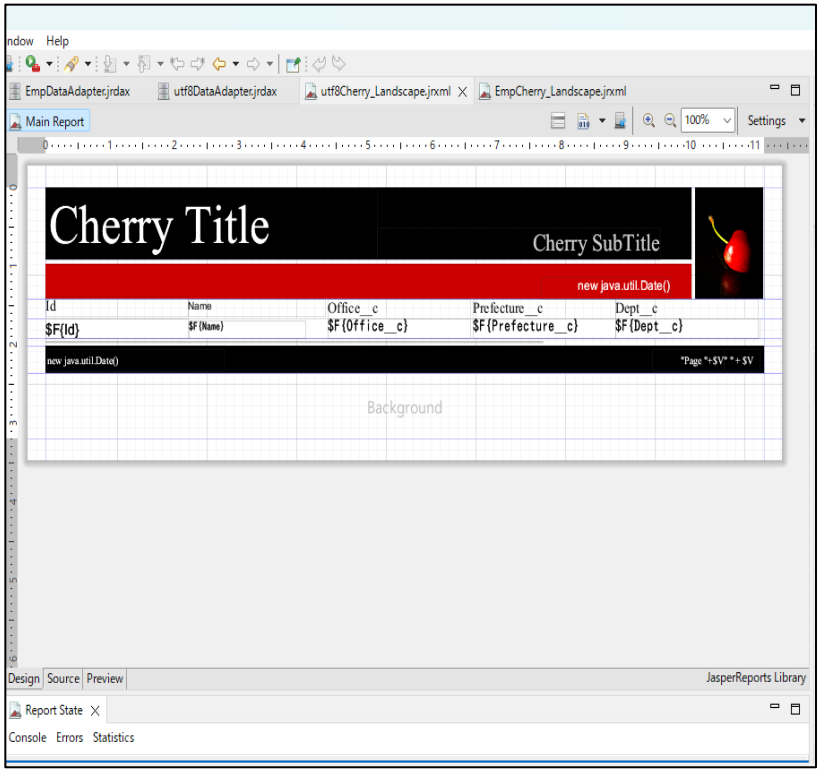
2－4　帳票レイアウトの作成 (続き)

⑥　グルーピングを行う場合、対象となるカラムをリストから指定し「Next」ボタンを押します。
⑦　「Finish」ボタンを押します。
⑧　帳票レイアウトファイル(.jrxml)が作成され、レイアウトデザイナーが表示されます。

⑥



⑧

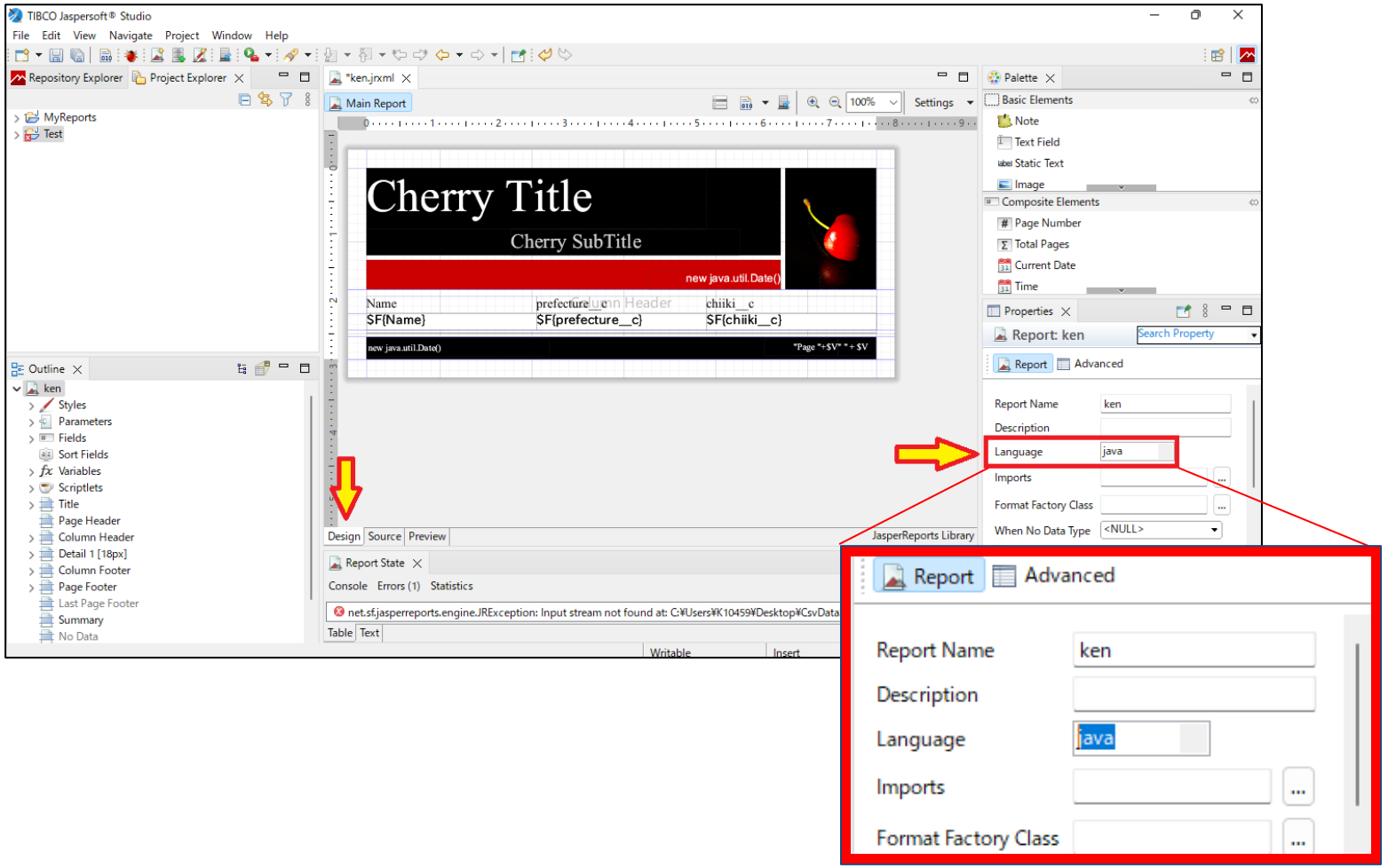


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－4　帳票レイアウトの作成 (続き)

⑨　中央下の「Design」タブを開き、作成した帳票レイアウトのプロパティの「Language」を[Java]に設定します。

⑨



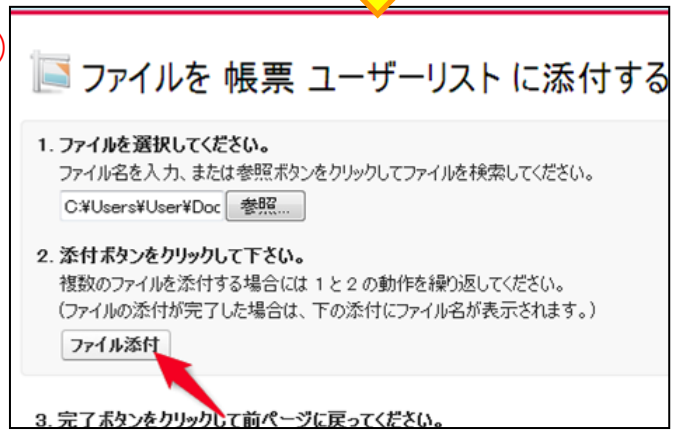
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－5　jrxmlファイルの登録

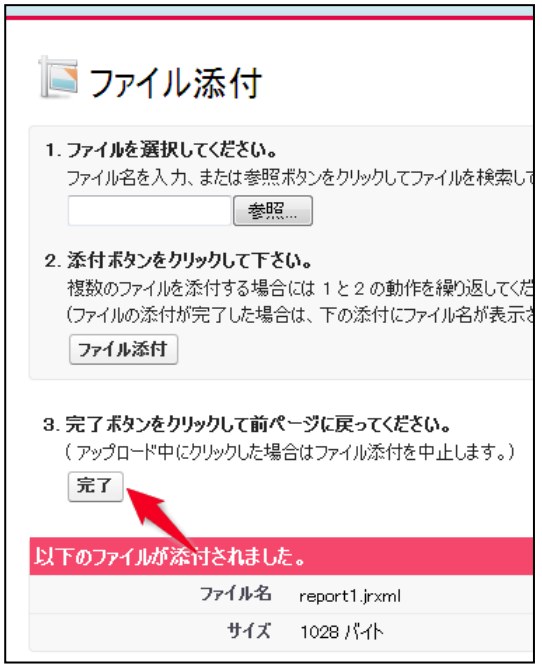
帳票オブジェクトが使用するレイアウトを指定するために、 jrxmlファイルを添付する必要があります。
① 作成した帳票オブジェクトを開き、「ファイル添付」ボタンを押します。
② JasperSoftStudioで作成したjrxmlファイルを選択し、「ファイル添付」ボタンを押します。
③ 添付されたファイル名を確認後、「完了」ボタンを押します。

①

②



③



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－5　jrxmlファイルの登録 (続き)

④　メモ＆添付ファイルの一覧にファイルが追加されたことを確認します。

④

注 意

※　帳票レイアウト上で画像等を使用している場合、それに応じてファイルを添付する必要があります。

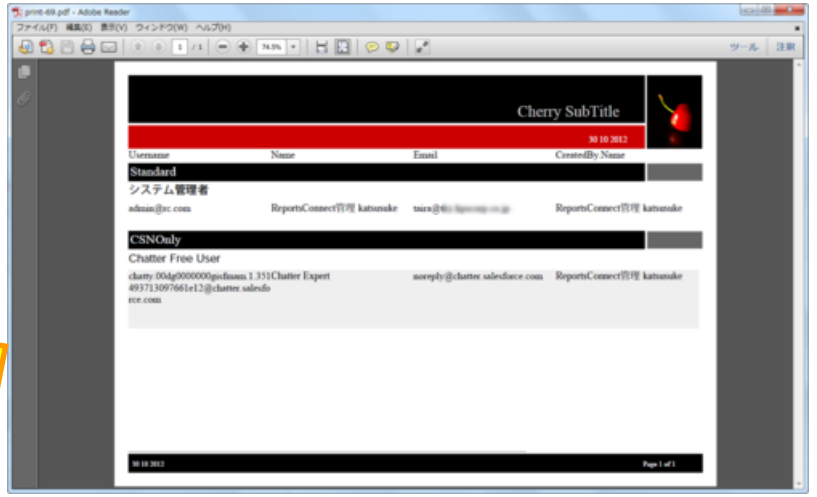
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－6　印刷テスト

実際にpdfを出力した確認が可能です。
① 作成した帳票オブジェクトを開き、「印刷テスト」ボタンを押します。
② テストが成功した場合、pdfファイルのダウンロードを開始します。
※ダウンロードページはタイトル、画像等のカスタマイズが可能です。

①

②



注 意

※ 印刷テストに失敗しエラーが発生した場合、「データの確認」ボタンを押すことで、
問題解決へのヒントが得られます。
→参照：P49（帳票テスト時にエラーが発生したら）

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－7　補足

①　ユーザー外字機能について

ReportsConnectではWindows上で作成したユーザー外字を使用することが出来ます。手順は以下の通りです。

1．外字フォントファイル(c:¥Windows¥fonts¥EUDC.TTE)を任意のフォルダにコピーし、EUDC.ttfという名称に変更します。
※コピーにはコマンドプロンプトを使用します。
例) cp c:¥Windows¥Fonts¥EUDC.TTE c:¥work¥EUDC.ttf

2．コピーしたEUDC.ttfファイルを帳票オブジェクトに添付します。

②　IPAmj明朝フォントについて

ReportsConnectではIPAmj明朝フォントの一部（約5万1千文字分）を使用する事が出来ます。手順は以下の通りです。

1．Jaspersoft Studioでjrxmlファイルを開きます。
2．フォントのプロパティの項目を下記の通りに設定します。
Font name:　IPAmj明朝
PDF Font name:　Times-Roman
PDF Embeted:　true
PDF Encording:　Identity-H

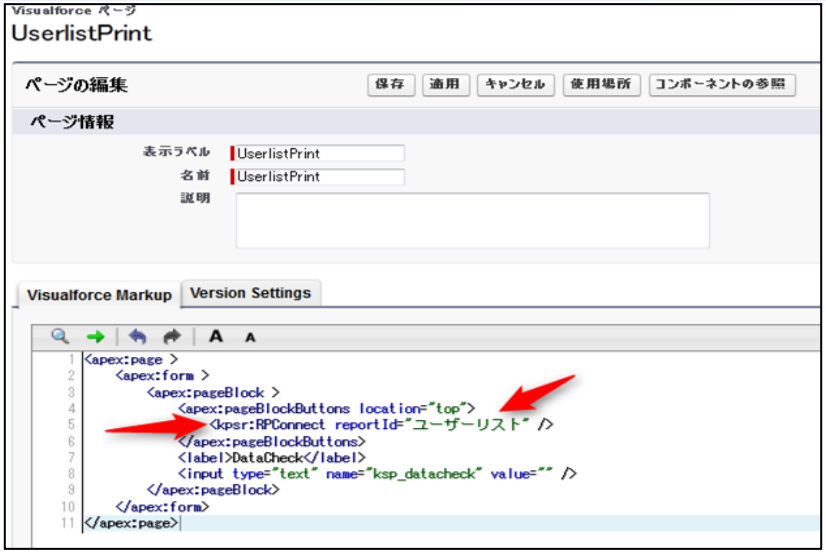
※事前にお使いのPCにIPAmj明朝フォントをインストールする必要があります。
IPAmj明朝フォントダウンロードページ
https://moji.or.jp/mojikiban/font/

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－1　RPConnectコンポーネントを使った簡易実装

ReportsConnectのパッケージには印刷ボタンを提供するコンポーネント「RPConnect」が含まれています。
RPConnectコンポーネントをページ上に配置することで、印刷機能を実装する事ができます。
① VisualForceページ上に<kpsr:RPConnect reportId="(帳票オブジェクト名)" />を記述します。

①



<kpsr:rpconnect >　コンポーネント属性説明

名称	型	説明
buttonvalue	String	ボタンに表示されるテキストです。
id	String	ページで他のコンポーネントがこのコンポーネントを参照できるようにする識別子です。
rendered	Boolean	コンポーネントがページで表示されるかどうかを指定する Boolean 値です。 指定しない場合、この値はデフォルトで true になります。
reportId	String	呼び出し対象となる帳票オブジェクトのIDまたは名前を指定するString値です。

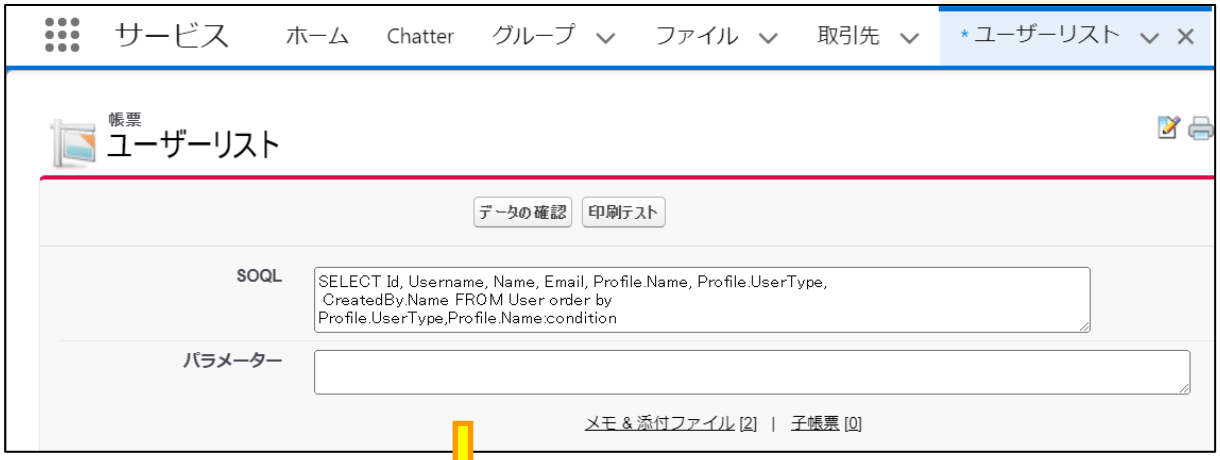
参考　ReportsConnectパッケージ内にサンプルページ「 ReportsTest」がございます。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

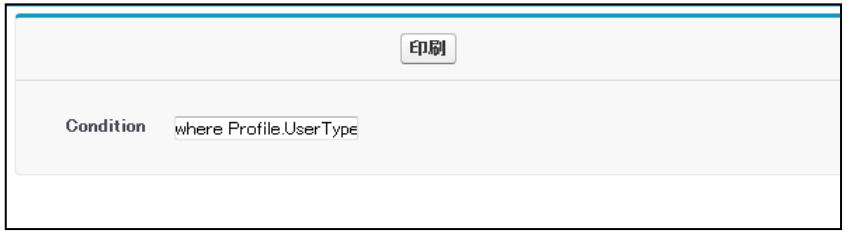
3－2　SOQLを動的に変更する

データの抽出条件など変更したいとき、パラメータを渡すことでSOQLを動的に変更する事が可能です。
① SOQL内に":(パラメータ名)"を追加します。
② 置換したいSOQL文をリクエストパラメータとして渡します。

①



②



（VisualForceページ上のTextBoxから動的にwhere条件を付加する例）

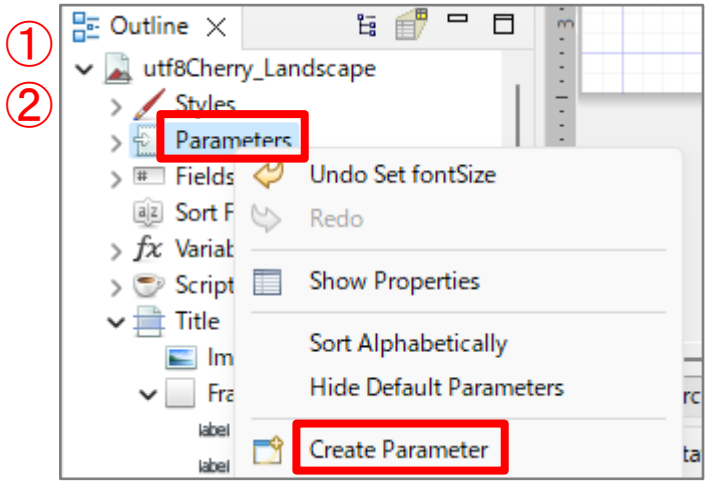
サンプルページソース

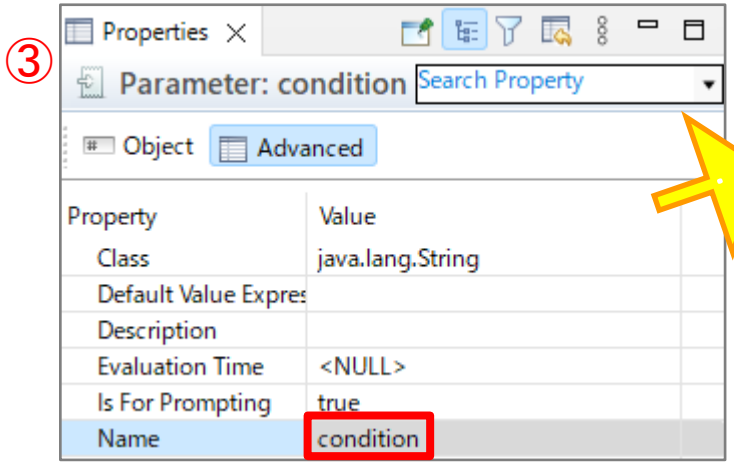
```
<apex:page >
  <apex:form >
    <apex:pageBlock >
      <apex:pageBlockButtons location="top">
        <kpsr:RPConnect reportId="ユーザーリスト" />
      </apex:pageBlockButtons>
      <label>Condition</label>
      <input type="text" name="condition" value="" />
    </apex:pageBlock>
  </apex:form>
</apex:page>
```


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

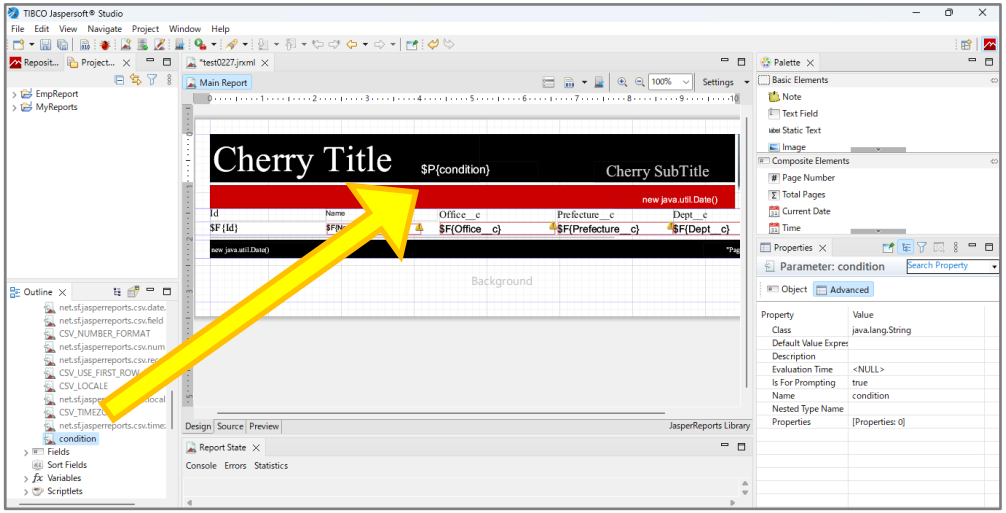
3－3　パラメータを帳票に出力する

パラメータを帳票上に出力することができます。
① JasperSoftStudioでjrxmlファイルを開き Outlineウィンドウから「Parameters」を右クリックします。
② 「Create Parameter」を選択します。
③ 追加したParameterの「Name」プロパティにパラメータ名を入力します。
④ 追加したParameterをレイアウト上にドラッグ＆ドロップします。





④



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－4　Apexから印刷要求を行う

ReportsConnectControllerクラスを使用することで、Apexコードによる印刷要求を行う事が可能です。

ReportsConnectController　クラス概要

メソッド	説明
String getLicenseName()	取得しているライセンス名を返します。
String getParentId()	添付対象のオブジェクトIDを返します。
MAP getParms()	パラメータのマップを返します。
String getReportId()	使用する帳票オブジェクトのIDまたは名前を返します。
String getReturnUrl()	遷移先のURLを返します。
String getSoql()	データを取得するためのSOQL文を返します。
System.PageReference goPrint()	帳票の印刷要求を行います。
void setAttachments(LIST atts)	添付ファイルのリストを追加します。
void setAttcheToId(Boolean attcheToId)	idパラメーターのオブジェクトに対する、PDFファイルの自動添付機能のON/OFFを設定します。
void setFilename(String filename)	出力PDFファイル名を設定します。
void setNull2Blank(Boolean null2Blank)	Null値の空文字置換機能のON/OFFを設定します。
void setParentId(String parentId)	添付対象のオブジェクトIDを設定します。
void setReport(SOBJECT:kpsr__Report__c rp)	帳票オブジェクトを追加します。
void setReportId(String reportId)	使用する帳票オブジェクトのIDまたは名前を設定します。
Void setReports(LIST rps)	連結して出力する帳票オブジェクトのリストを設定します。
void setReturnUrl(String returnUrl)	遷移先のURLを取得します。
void setSoql(String soql)	データを取得するためのSOQL文を設定します。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－4　Apexから印刷要求を行う

ReportsConnectControllerクラスを使用することで、Apexコードによる印刷要求を行う事が可能です。

ReportsConnectController　クラス概要（続き）

メソッド	説明
void setBatchUsername(String batchUsername)	ログインユーザー固定化で使用するユーザー名を指定します
void setBatchPassword(String batchPassword)	ログインユーザー固定化で使用するパスワードを指定します
void setLoginFix(Boolean loginFix)	ログインユーザー固定化のON/OFFを設定します。
void setNouiMode(Boolean nouiMode)	ログインユーザー固定化オプションをユーザーインターフェース無しで稼働させる機能のON/OFFを設定します。
void setFeedDescription(String feedDescription)	ログインユーザー固定化オプションで作成したチャターフィードの説明を設定します

プロパティ	説明
String goUrl	ReportsConnectサーバーに帳票処理を引き渡すためのURLを設定および取得します。
String batchMessage	ログインユーザー固定化オプションでをユーザーインターフェース無しで稼働させた場合の処理結果を参照します

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－4　Apexから印刷要求を行う（続き）

ReportsConnectControllerクラスを使用したコードサンプルです。
① **setReportId()**により帳票オブジェクト名を指定。
② 動的に生成したSOQLを**setSoql()**より設定。
※**getParms()**で取得したMapに任意のパラメータを追加することも可能です。
③ **goPrint()**により印刷要求。
④ goUrlに処理用のURLを渡し、JavaScriptを用いて別画面表示。

VisualForceページ

```
<apex:page controller="Userlist">
  <apex:pageMessages id="msg"></apex:pageMessages>
  <apex:form >
  <apex:pageBlock >
    <apex:pageBlockButtons location="top">
        <apex:selectList size="1" value="{!ptype}">
        <apex:selectOption itemValue="Standard"
itemLabel="Standard"/>
        <apex:selectOption itemValue="all" itemLabel="全件"/>
      </apex:selectList>
      <apex:commandButton action="{!goPrint}" value="印刷"
                  reRender="theBlock,msg" status="status"  />
      <apex:actionStatus startText="Requesting..." id="status"/>
    </apex:pageBlockButtons>
  </apex:pageBlock>
  </apex:form>
<apex:outputPanel id="theBlock">
<script type="text/javascript">
  if ("{!goUrl}" != ""){
④ window.open("{!goUrl}",null,"scrollbars=no,width=1000,height=400");
  }
</script>
</apex:outputPanel>
</apex:page>
```

コントローラー側のApexコード

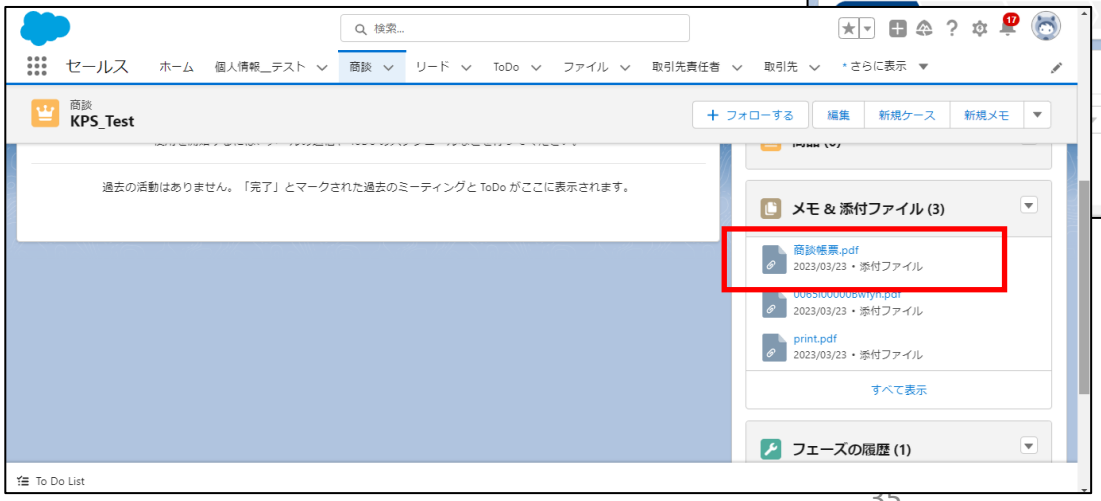
```
public with sharing class Userlist {

  public String ptype { get; set; }

  private kpsr.ReportsConnectController rc;

  public Userlist(){
    rc = new kpsr.ReportsConnectController();
①   rc.setReportId('ユーザーリスト');
  }

  public String goUrl { get; set; }

  public PageReference goPrint() {

    String ql = 'SELECT Id, Username, Name, Email, Profile.Name,
                  Profile.UserType, CreatedBy.Name FROM User ';
    if(ptype == 'Standard'){
      ql = ql + 'where Profile.UserType=¥'Standard¥'
                  order by Profile.UserType, Profile.Name';
    } else {
      ql = ql + 'order by Profile.UserType, Profile.Name';
    }
②  rc.setSoql(ql);
※  rc.getParms().put('condition',ptype);
③  rc.goPrint();
④  this.goUrl = rc.goUrl;
    return null;
  }
}
```


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－5　帳票PDFをオブジェクトに添付する

出力された帳票PDFをダウンロードする形式の他、帳票PDFを任意のオブジェクトに添付することが出来ます。
① 帳票オブジェクト編集画面で、「idパラメータのオブジェクトに添付」欄のチェックをオンにします。
② レコードidがリクエストパラメータに加わっている状態で、印刷処理を実行します。

② レコードの詳細画面に移動して印刷をする
※ボタン作成については、次ページ参照



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－5　帳票PDFをオブジェクトに添付する

ボタン作成に必要な要素（サンプル）
①Visualforceページ　②Apexクラス　③ページレイアウトにボタンを追加

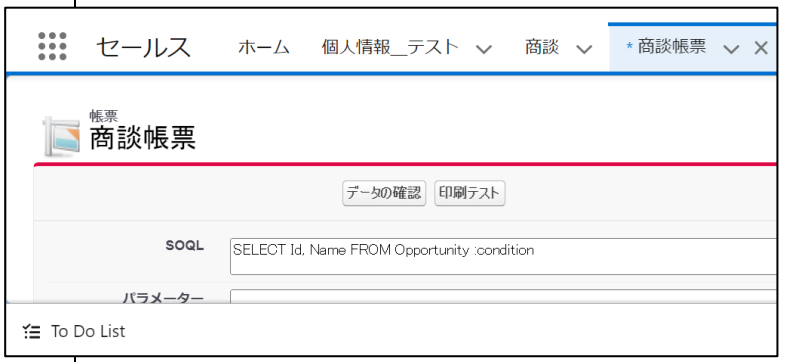
①

```
<apex:page standardController="Opportunity"
      extensions="OpportunityPrint" action="{!doPrintMt}">
</apex:page>
```

②

```
public with sharing class OpportunityPrint {
    private kpsr.ReportsConnectController rc;
    public String orderId;

   public OpportunityPrint (ApexPages.StandardController controller) {
      rc = new kpsr.ReportsConnectController();
      orderId = controller.getId();
   }
   public Pagereference doPrintMt(){
      rc.setReportId('商談帳票');          //使用する帳票名をセット
      rc.setFilename('商談帳票');          //作成するファイル名を設定
      return doPrint();
   }
   private Pagereference doPrint(){
      rc.getParms().put('condition','WHERE Id = ¥'' + orderId + '¥'');
      rc.goPrint();
      Pagereference pr = new Pagereference(rc.goUrl);
      return pr;
   }
}
```

※帳票のSOQLに変数を追加

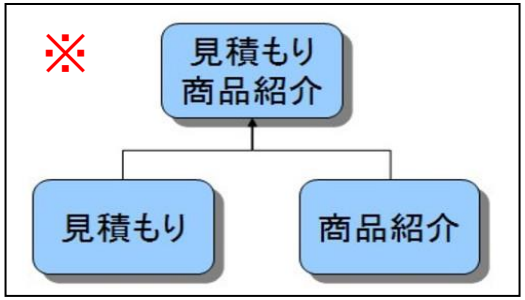


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

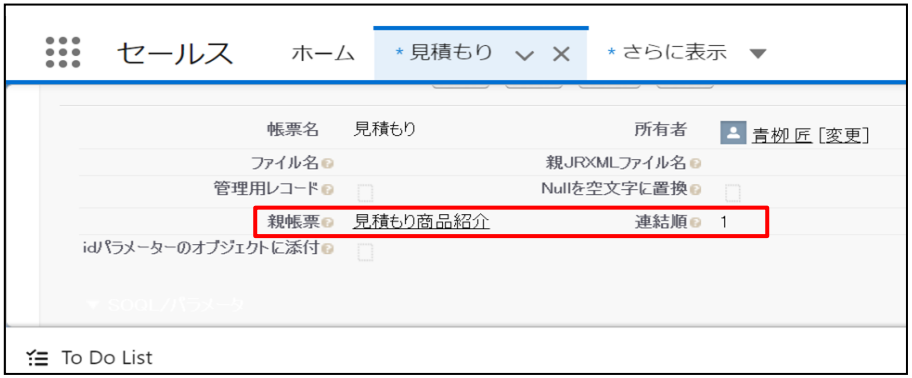
3－6　複数の帳票をひとつのPDFにまとめて出力する

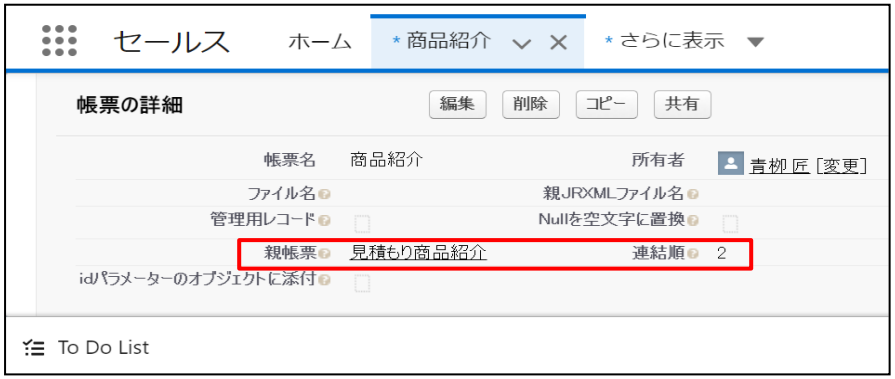
複数の異なる帳票を、ひとつのPDFに集約して出力することが可能です。
① 子帳票を集約するための親帳票オブジェクトを、新規作成します。
※例では「見積もり」と「商品紹介」の２つの子帳票をまとめた親帳票「見積もり商品紹介」を作成しています。
② 子帳票側オブジェクトの「親帳票」欄に①で作成したオブジェクト名を、「連結順」に出力時の並び順を入力します。

①



②





注 意

※　子帳票間で同名のリクエストパラメーターを使用している場合、正しく動作しない可能性があります。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－7　ログインユーザー固定化オプションの使用法

ログインユーザー固定化オプションとは、すべてのユーザーからのReports Connectの印刷処理をあらかじめ設定したユーザーIDおよびパスワードを使用した認証によって行うものです。
印刷ページ数の制限は従来通り、実行中のユーザーのライセンスにより決まります。
Reports Connect1.16以上のバージョンになっていない方は、Reports ConnectのHPから最新版をダウンロードしてください。
①旧バージョンから更新した場合、帳票オブジェクトの画面レイアウトを修正して「ログインユーザーを固定化する」「UIを使用しない」「固定化ユーザ名」「固定化ユーザーパスワード」のフィールドが表示されるようにします。
②該当する帳票オブジェクトを開き固定化したいユーザーのユーザー名とパスワードを設定して、「ログインユーザーを固定化する」のチェックを入れます。パスワードにはパスワードの後ろにセキュリティトークンを連結した文字列を設定してください。

①

②

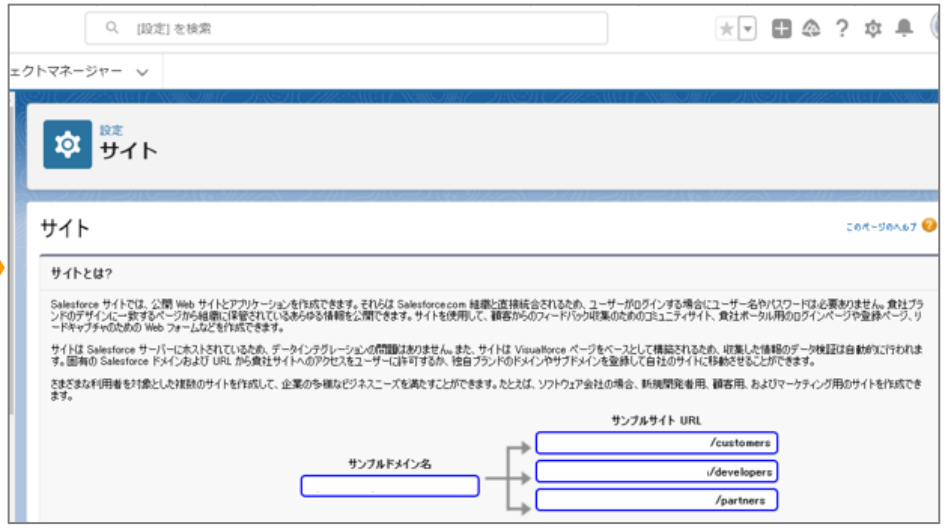
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－7　ログインユーザー固定化オプションの使用法～ログインしていない環境での印刷～（使用例）

この機能の使用例を紹介します（印刷機能をSitesで公開する例）
①印刷ボタンをVisualForceページに配置します。
②　①で作成した、VisualforceページをSitesのVisualforceページに登録して、インターネット上に公開することで不特定多数のユーザ向けに帳票を提供できます。

①

②



印刷ボタンサンプルコード

```
<apex:page >
 <apex:form >
    <apex:pageBlock >
       <apex:pageBlockButtons location="top">
          <kpsr:RPConnect reportId="ユーザーリスト" />
       </apex:pageBlockButtons>
    </apex:pageBlock>
 </apex:form>
 </apex:page>
```

※

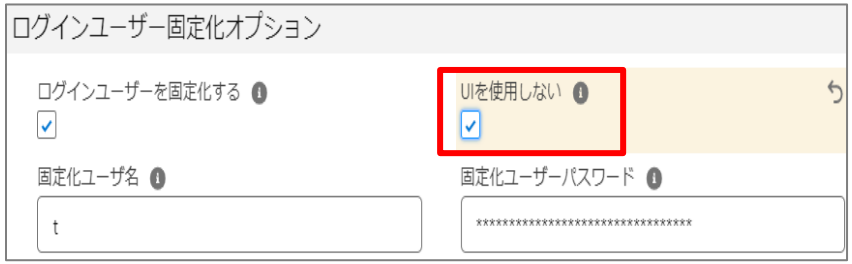
※あらかじめ作成した帳票名を入力します

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

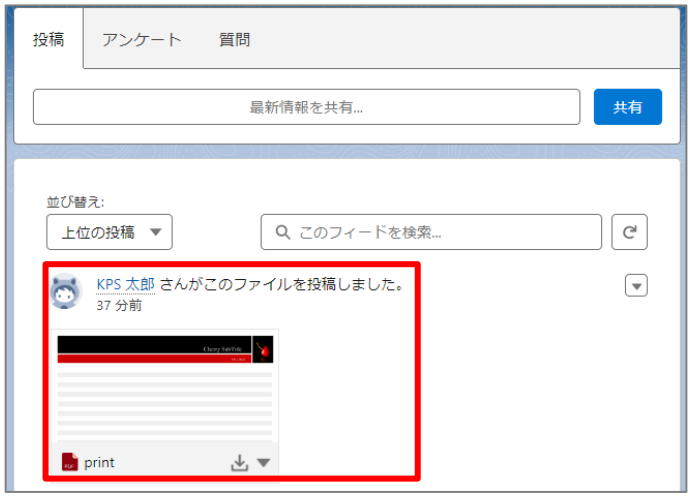
3－7　ログインユーザー固定化オプションの使用法（UIを使用しない場合）

①帳票オブジェクトの「UIを使用しない」のチェックをオンにします。
②この状態で印刷テストを押すとポップアップWindowは表示されず、上部にメッセージが表示され、印刷ファイルは実行ユーザーへのchatterフィードへの添付ファイルとして作成されます。

①



②



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－7　ログインユーザー固定化オプションの使用法～バッチでの自動印刷～（使用例）

この機能の使用例を紹介します。（バッチ処理）
①　作成されたPDFファイルをメールの添付ファイルとして自動送信するApexクラスを実装します。

①

Apexサンプルコード

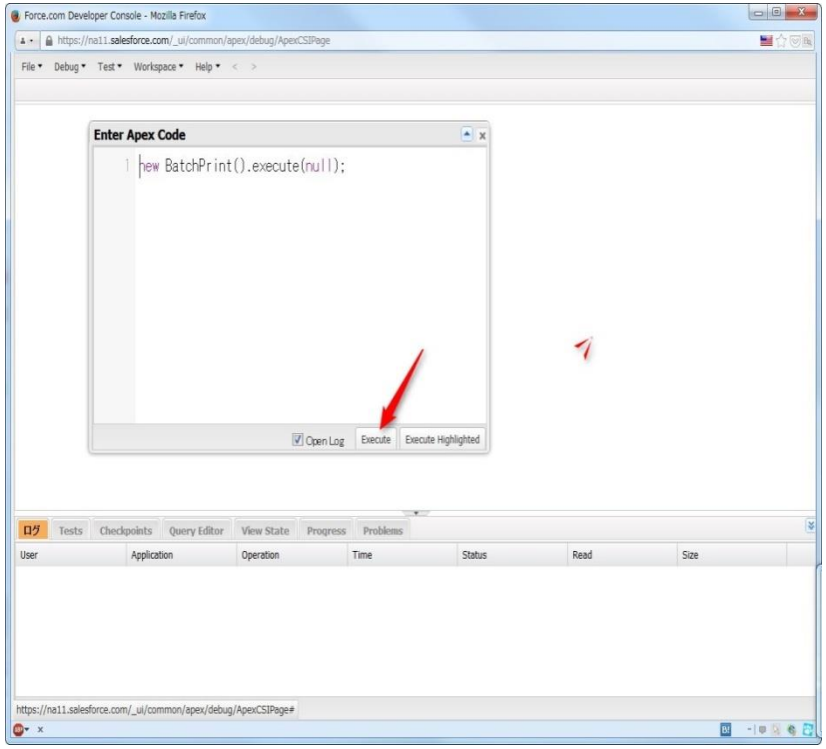
```
global class BatchPrint  implements Schedulable{
 global void execute(SchedulableContext SC){
  futurePrint();
 }

 @future(callout=true)
 private static void futurePrint(){
  //①ReportsConnectControllerのインスタン作成して、印刷処理を実行
  kpsr.ReportsConnectController rc = new kpsr.ReportsConnectController();
※rc.setReportId('ユーザーリスト');※あらかじめ作成した帳票名を入力します
  rc.setNouiMode(true);
※rc.setFeedDescription('Batch印刷テスト');
  rc.goPrint();                    ※作成されるフィードに説明を追加する事ができます。
  system.debug(rc.batchMessage);
  //②JSONの処理結果をBatchPrintResultに変換
  kpsr.BatchPrintResult res = (kpsr.BatchPrintResult) JSON.deserialize(rc.batchMessage,kpsr.BatchPrintResult.class);
  if(!res.success){
   //③エラーの場合チャターフィードを作成して通知
   FeedItem post = new FeedItem();
   post.Body = 'バッチ印刷が失敗しました！¥n' + res.message;
   post.parentId = system.Userinfo.getUserId();
   insert post;
  } else {
   //④印刷処理が完了の場合はEmailfileattachmentを作成してコピーする
   FeedItem print = [select id,ContentFileName,ContentDescription,ContentData
    from FeedItem where id = :res.id];
   List<Messaging.Emailfileattachment> fas = new List<Messaging.Emailfileattachment>();
   Messaging.Emailfileattachment fa = new Messaging.Emailfileattachment();
   fa.setFileName(print.ContentFileName);
   fa.setBody(print.ContentData);
   fas.add(fa);
   //⑤Emailfileattachmentをメールに添付して自分に送信
   String uid =System.Userinfo.getUserId();
   User usr =[select id,name,Email from User where id = :uid];
   Messaging.SingleEmailMessage smail = new Messaging.SingleEmailMessage();
   smail.setToAddresses(new String[]{usr.Email});
   smail.setSubject(print.ContentFileName);
   smail.setPlainTextBody(print.ContentDescription);
   smail.setReplyTo(usr.Email);
   smail.setSenderDisplayName(usr.name);
   smail.setFileAttachments(fas);
   Messaging.sendEmail(new Messaging.SingleEmailMessage[] { smail });
  }
 }
}
```

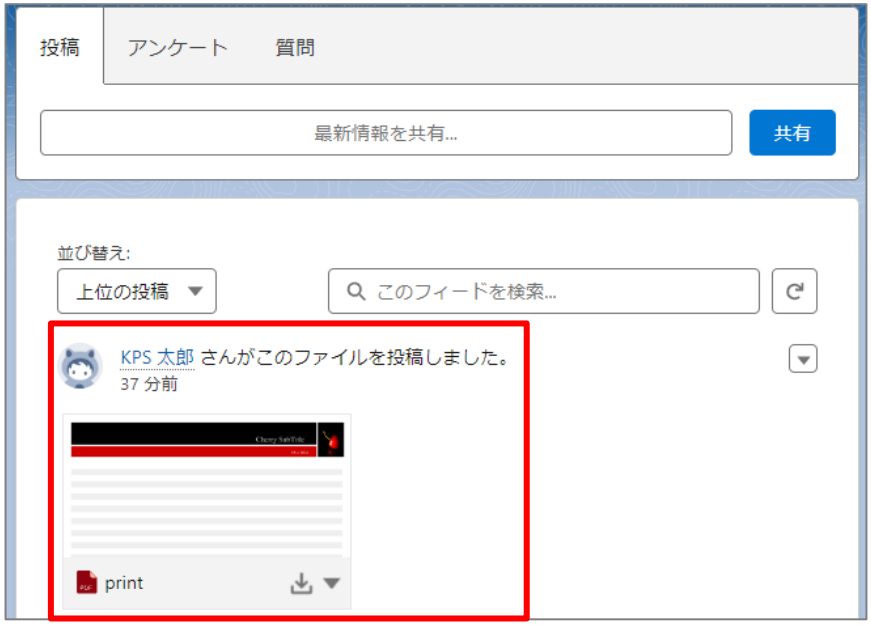

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3－7　ログインユーザー固定化オプションの使用法～バッチでの自動印刷～（使用例続き）

②開発者コンソールでCtrl+eを押して実行プロンプトを開き、 new BatchPrint().execute(null);と入力することでテストできます。実行すると、帳票が添付されたフィードが投稿され、自分あてにPDFが添付されたメールが送られます。
①で作成したApexクラスをスケジュールに組み時間を指定することで、PDFを自動的にメールで送信することが可能になります。

②





Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4－1　ライセンス管理画面を表示する

ライセンス画面より、有料ライセンスのユーザーへの割り当てを行うことが出来ます。
（※事前に有料ライセンスをお申し込みいただく必要があります。）
（※ユーザー管理権限が必要です。）

① 帳票オブジェクトを開き、「ライセンス管理」ボタンを押します。
② 「認証」ボタンを押します。
③ 認証処理画面を閉じます。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4－1　ライセンス管理画面を表示する（続き）

④「照会」ボタンを押します。

④

（標準ライセンス管理画面）

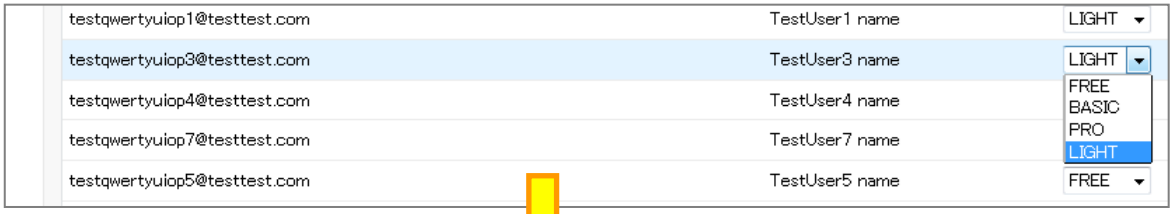
（ＯＥＭ向けライセンス管理画面）

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4－2　ユーザーにライセンスを割り当てる

各ユーザーのライセンスは管理画面から随時変更が可能です。
① 「ライセンス名」リストから割り当てるライセンスを選択します。
② 「確定」ボタンを押します。
③ 「変更が確定されました。」メッセージが表示されれば完了です。

①



②

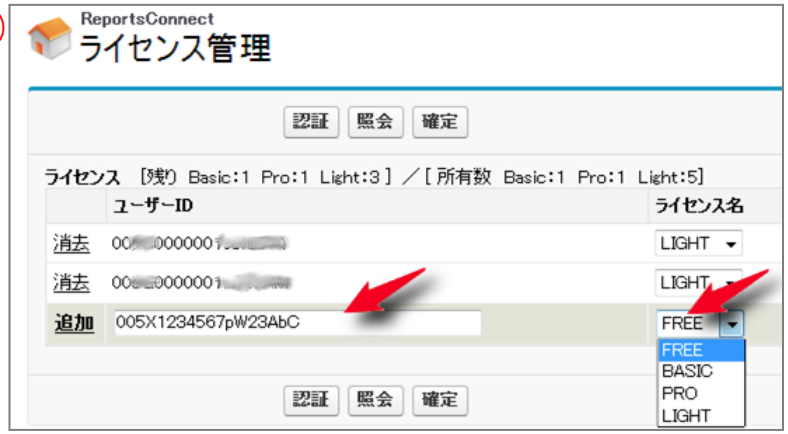
③

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4－3　ユーザーにライセンスを割り当てる（OEM向け）

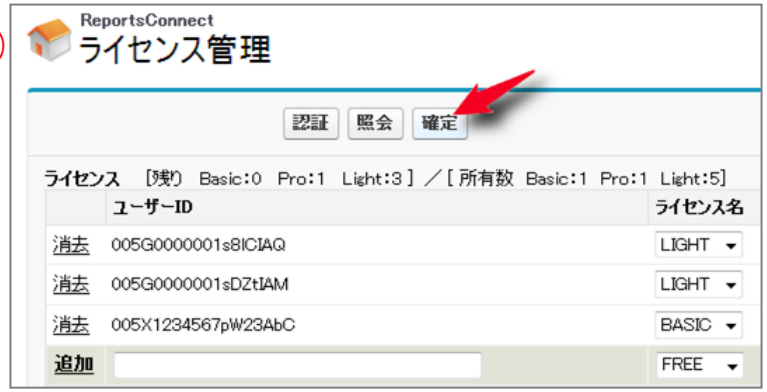
OEM向けライセンスの割り当てには、ユーザーＩＤを直接入力する必要があります。
① リスト下部にユーザーＩＤを入力し、ライセンス名リストから割り当てるライセンスを選択します。
② 「追加」ボタンを押し、一覧にユーザーを追加します。
③　手順①～②を繰り返し、ユーザーの追加が完了したら「確定」ボタンを押します。

①



②

③



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

5－1　帳票保存時に「エラー：設定が必要です！ ～」と表示されたら

Reports ConnectはherokuサーバーにアクセスするためⅠ、セキュリティの設定が必要です。
[設定]->[セキュリティのコントロール]->[リモートサイトの設定]とクリックして、指定のURLを設定して下さい。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

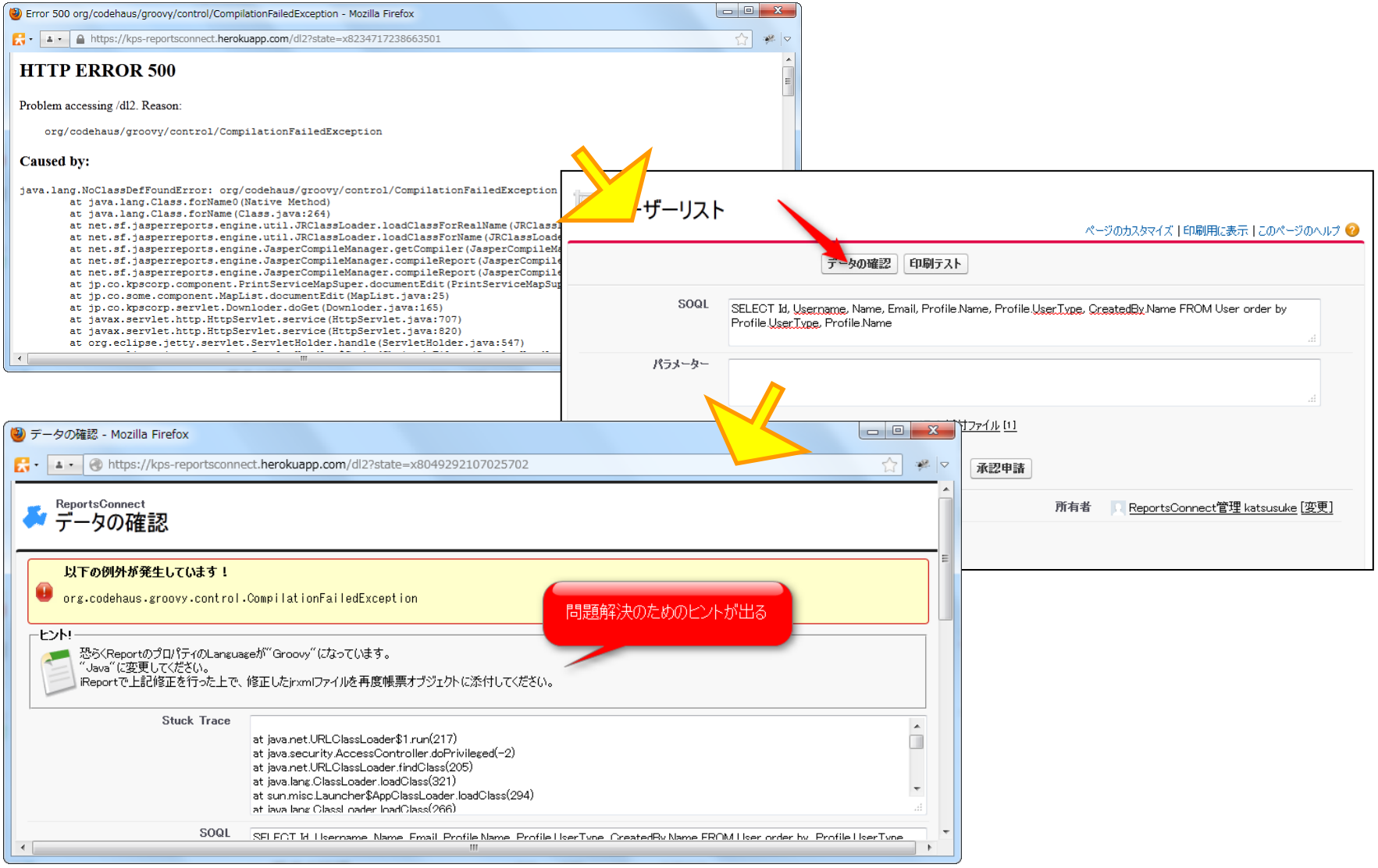
5－2　ReportsConnect実行時、データへのアクセス権限を要求されたら

oAuth2.0の認証機能により、初回実行時にReportsConnectサーバーがforce.comのDBへアクセスする事に関する許可をユーザーに求めてきます。
「許可」ボタンを押して下さい。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

5－3　帳票テスト時にエラーが発生したら

テスト時に例外が発生した場合、帳票画面の「データの確認」ボタンを押すことで問題解決のヒントが表示されます。



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

Reports Connectに関するご質問

ReportsConnectのサポートフォーラムをご利用ください。

URL：https://forum.reportsconnect.com/

その他のお問い合わせ

資料請求・お問い合わせはこちらから(平日10 時～ 17 時　担当：西坂)

TEL：　03-3360-6113

FAX：　03-3360-3351

Mail：　force1@mail.kpscorp.jp

技術支援

㈱ケーピーエスではForce.comに関する技術支援もおこなっております。

URL：http://techsupport.kpscorp.jp

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.